

整形外科学

主任教授 吉田宗人（～3月） 山田宏（6月～）

講師 橋爪洋 湯川泰紹 南出晃人 中川幸洋 岩崎博 筒井俊二 高見正成 谷口隆哉 谷口亘 福井大輔

助教 下江隆司 神埜聖治

研究概要

当講座では脊椎・脊髄に関する基礎的・臨床的研究を中心に行っている。基礎研究は臨床との関連性を重視しており、これまでに電気生理学的脊髄モニタリング法の臨床応用、動物モデルを用いた腰部神経根性疼痛メカニズムの解明、細胞組織工学による椎間板再生、骨形成タンパクと人工骨の脊椎固定術への応用、パッチクランプ法による疼痛伝達路の解明及び脊髄前角細胞の電気生理学的作用の解明、脊柱靭帯骨化症に対する分子生物学的アプローチなどを行ってきた。長寿社会が達成された現在、人々は生活の質の改善を求めており、運動器疾患の治療と撲滅は最重要課題とされている。われわれはこの社会的要求に応えるべく、臨床面で現在、低侵襲手術の研究・開発にも力を注いでいる。また、形成外科・手の外科分野においても微小血管外科やキンベック病に関する報告を数多く行っている。

以下にその詳細を列挙する。

1. 脊椎外科に関連する基礎的並びに臨床的研究
 - 脊椎内視鏡手術の技術開発と臨床応用に関する研究
 - 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの応用に関する研究
 - 脊柱靭帯骨化症関連遺伝子の解析
 - 腰部脊柱管狭窄症の自然経過に関する疫学調査研究
 - 腰椎椎間孔障害の補助診断法としての電気生理学的研究
 - 脱出椎間板組織の吸収過程と神経因性疼痛の制御に関する研究
 - 変性椎間板による神経因性疼痛発現機序とその制御に関する研究
 - パッチクランプ法を用いた脊髄内痛覚伝導路に関する研究
 - パッチクランプ法を用いた脊髄前角細胞に対する虚血負荷に対する検討
 - パッチクランプ法を用いた運動ニューロンの電気生理学的作用の研究
 - 焼成骨（true bone ceramic, TBC）の脊椎固定材料としての有用性に関する研究
 - 術中脊髄機能モニタリングに関する基礎的・臨床的研究
2. 骨髄幹細胞による骨・靭帯・関節組織の再生に関する研究
 - 培養椎間板細胞を用いた椎間板再生に関する研究
 - 骨髄幹細胞を用いた脊椎固定術に関する研究
 - 骨髄幹細胞を用いた靭帯再建術に関する研究
3. 骨形成タンパク(OP-1)の臨床応用に関する研究
 - 骨形成タンパクによる変性椎間板の再生と神経因性疼痛抑制に関する研究
 - 骨形成タンパクによる脊椎固定術に関する研究
4. その他
 - キンベック病に関する臨床的研究
 - マイクロサージェリーを用いた機能再建術に関する臨床的研究
 - 小児上腕骨顆上骨折の装具療法の研究

著書

1. 山田 宏：後方進入内視鏡下手術を行うために知っておきたい解剖の基本 腰椎椎間孔 p11-13 編集 吉田宗人 編集協力 中川幸洋 医学書院 2017
2. 山田 宏：椎間孔部狭窄に対する内視鏡手術 手術について 脊椎内視鏡下手術 p149-153 編集 吉田宗人 編集協力 中川幸洋 医学書院 2017
3. 山田 宏：椎間孔部狭窄に対する内視鏡手術 椎間孔部狭窄症に特徴的な理学所見、画像所見、p153-157 編集 吉田宗人 編集協力 中川幸洋 医学書院 2017
4. 山田 宏：術後性後根神経節関連神経痛の予防と発生対策 p224-225 編集 吉田宗人 編集協力 中川幸洋 医学書院 2017
5. 山田 宏：Personal view 外科医教育のパラダイムシフト 整形・災害外科 60 巻 13 号 pp1537 (コラム)
6. 安藤宗治、川上 守：C3/4 高位障害の特徴. In 福武敏夫、徳橋泰明、坂本博昭 (編) : Dynamic diagnosis に必要な脊椎脊髄の神経症候学. 三輪書店, 2017, pp42-45
7. 橋爪 洋, 吉田宗人：化膿性脊椎炎. 「図解整形外科 第3版」久保俊一代表編著 金芳堂, 京都, pp71-72, 2017
8. 橋爪 洋, 吉田宗人：脊椎・脊髄疾患. 「図解整形外科 第3版」久保俊一代表編著 金芳堂, 京都, pp165-203, 2017
9. 橋爪洋, 吉田宗人. 腰部脊柱管狭窄症. 「1336 専門家による私の治療 2017-18 年度版」猿田享男・北村惣一郎監修, 日本医事新報社, 東京, pp1092-1095, 2017
10. 橋爪 洋：H 鏡視下後方除圧術 第一人者のコメント. 「脊椎手術解剖アトラス」菊地臣一編, 医学書院, 東京, pp169, 2017
11. 橋爪 洋, 吉田宗人：下垂足. 「Dynamic diagnosis に必要な脊椎脊髄の神経症候学」福武敏夫・徳橋泰明・坂本博昭編, 三和書店, 東京, pp249-253, 2017
12. 橋爪 洋：タンデム手術 (Tandem Operation). 「脊椎内視鏡下手術」吉田宗人編, 医学書院, 東京, pp194-199, 2017
13. 南出晃人:第I部 基礎編 1章 後方進入内視鏡下手術を行うために知っておきたい解剖の基本 頸椎. 脊椎内視鏡下手術, 吉田宗人 編, pp2、医学書院、東京、2017
14. 南出晃人:第I部 基礎編 6章 おさえておきたい内視鏡下手術の基本手技 片側進入両側除圧. 脊椎内視鏡下手術, 吉田宗人 編, pp 68、医学書院、東京、2017
15. 南出晃人:第II部 手術手技編 8章 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術 (MEL). 脊椎内視鏡下手術, 吉田宗人 編, pp118、医学書院、東京、2017
16. 南出晃人: 第II部 手術手技編 9章 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術. 脊椎内視鏡下手術, 吉田宗人 編, pp122-125、医学書院、東京、2017
17. 南出晃人:第II部 手術手技編 10章 種々の病態に対する内視鏡下除圧術 -変性側弯を伴う場合の除圧手技. 脊椎内視鏡下手術, 吉田宗人 編, pp126-129、医学書院、東京、2017
18. 南出晃人:第II部 手術手技編 10章 種々の病態に対する内視鏡下除圧術 -腰椎分離症に対する内視鏡下除圧術. 脊椎内視鏡下手術, 吉田宗人 編, pp130-138、医学書院、東京、2017
19. 南出晃人:第II部 手術手技編 14章 頸部脊髓症に対する内視鏡下頸椎後方除圧術 (CMEL). 脊椎内視鏡下手術, 吉田宗人 編, pp162-168、医学書院、東京、2017
20. 南出晃人:第III部 合併症対策編 ヘルニア再発. 脊椎内視鏡下手術, 吉田宗人 編, pp220、医学書院、東京、2017
21. 南出晃人:第III部 合併症対策編 変性側弯 (回旋). 脊椎内視鏡下手術, 吉田宗人 編, pp228、医学書院、東京、2017
22. 中川幸洋：頸部神経根症(椎間板ヘルニアを含む)：今日の治療指針 私はこう治療している 総編集 福井次矢、高木誠、小室一成, pp1058-1059、医学書院、2017
23. 中川幸洋：頸椎椎間板ヘルニア：頭頸部・体幹のスポーツ外傷 編集 永廣信治、西良浩一、pp124-135、メジカルビュー社、2017
24. 中川幸洋：I 基礎編 1章 後方進入内視鏡手術を行うために知っておきたい解剖の基本 B 頸椎椎間孔部 pp3-4：脊椎

内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017

25. 中川幸洋：I基礎編 2章 内視鏡手術のためのセットアップ法 Q&A1 ダイレータ挿入時に気をつけることは？また軟部組織剥離のポイントは？pp22：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
26. 中川幸洋：I基礎編 4章 手術器具を使ってみる B ハイスピードドリル、内視鏡用骨ノミ pp33-36：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
27. 中川幸洋：I基礎編 4章 手術器具を使ってみる Q&A 5 バーが届かず削りにくいときの対処は？ pp40-41：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
28. 中川幸洋：I基礎編 5章 内視鏡下手術-成功へのコツ- E レベル誤認対策 pp47-48：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
29. 中川幸洋：I基礎編 5章 内視鏡下手術-成功へのコツ- F 止血法 pp48-50：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
30. 中川幸洋：I基礎編 5章 内視鏡下手術-成功へのコツ- G 血腫予防とドレーン挿入 pp50-53：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
31. 中川幸洋：I基礎編 6章 おさえておきたい内視鏡下手術の基本手技 F 片側進入両側除圧 pp58-61：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
32. 中川幸洋：I基礎編 6章 おさえておきたい内視鏡下手術の基本手技 Q&A7 除圧、鋭匙など各種器具を使用する際のポイント(届かせるためのコツ)は？ Pp62-63：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
33. 中川幸洋：I基礎編 6章 おさえておきたい内視鏡下手術の基本手技 Q&A9 止血、特に隆々とした血管を損傷したときの対処方法は？pp65-67：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
34. 中川幸洋：I基礎編 6章 おさえておきたい内視鏡下手術の基本手技 Q&A11 円筒レトラクターの設置や傾きについてのポイントは？pp69：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
35. 中川幸洋：II手術手技編 7章 椎間板ヘルニアに対する内視鏡下手術 B 外側ヘルニア pp77-81：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
36. 中川幸洋：II手術手技編 7章 椎間板ヘルニアに対する内視鏡下手術 B 中心性ヘルニア pp82-84：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
37. 中川幸洋：II手術手技編 7章 椎間板ヘルニアに対する内視鏡下手術 migrate したヘルニア pp85-87：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
38. 中川幸洋：II手術手技編 8章 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術 (MEL) Q&A 15 膨隆した黄色靭帯が邪魔になって対側の骨切除がブラインド気味になってしまう際の対策は？ pp108-109：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
39. 中川幸洋：II手術手技編 8章 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術 (MEL) Q&A 25 黄色靭帯剥離時にケリソが入りにくい場合にどうしたらよいか？ pp120-121：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
40. 中川幸洋：II手術手技編 12章 神経根奇形に対する内視鏡下手術 pp144-148：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
41. 中川幸洋：II手術手技編 14章 頸部脊髄症に対する内視鏡下後方除圧術(CMEL) Q&A 29 頸椎内視鏡手術に際し、METR x-MED システムの標準器械以外に準備するものは？：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
42. 中川幸洋：II手術手技編 15章 頸部神経根症に対する内視鏡下頸椎椎間孔拡大術 (CMEF)pp171-176：脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
43. 中川幸洋：II手術手技編 15章 頸部神経根症に対する内視鏡下頸椎椎間孔拡大術 (CMEF)Q&A 30 CMEFにおける

- 出血対策はどのようにすればよいか? pp177-179 : 脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
44. 中川幸洋: II手術手技編 15章 頸部神経根症に対する内視鏡下頸椎椎間孔拡大術 (CMEF)Q&A 31 CMEFにおける前方骨棘、ヘルニア摘出の判断基準は? pp180 : 脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
45. 中川幸洋: II手術手技編 15章 頸部神経根症に対する内視鏡下頸椎椎間孔拡大術 (CMEF)Q&A 32 CMEFの際にランドマークをどこに置くか? pp181 : 脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
46. 中川幸洋: II手術手技編 15章 頸部神経根症に対する内視鏡下頸椎椎間孔拡大術 (CMEF)Q&A 33 頸椎内視鏡下手術時のヘルニア摘出の方法は? pp182-183 : 脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
47. 中川幸洋: II手術手技編 15章 頸部神経根症に対する内視鏡下頸椎椎間孔拡大術 (CMEF) Q&A 34 CMEF 外側のランドマークを確認する際のポイントは? pp184 : 脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
48. 中川幸洋: III合併症対策編 B 硬膜損傷:縫合 pp214-217 : 脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
49. 中川幸洋: III合併症対策編 E 術後血腫と予防 pp221-222 : 脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
50. 中川幸洋: III合併症対策編 F 術後血腫の発生時対策 pp222-223 : 脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
51. 中川幸洋: III合併症対策編 H ドレン関連 pp225-226 : 脊椎内視鏡下手術 編集 吉田宗人、編集協力 中川幸洋、医学書院 2017
52. 麻殖生和博 腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡手術、脊椎内視鏡下手術 吉田宗人編, 医学書院 : pp72-76,2017
53. 岩崎博第I部 基礎編 2章 内視鏡下手術のためのセットアップ法 A 基本セットアップ. 脊椎内視鏡下手術、吉田宗人編、pp14-17、医学書院、東京、2017
54. 岩崎博第I部 基礎編 2章 内視鏡下手術のためのセットアップ法 B 手術器具のセットアップ. 脊椎内視鏡下手術、吉田宗人 編、pp24-25、医学書院、東京、2017
55. 岩崎博第I部 基礎編 4章 手術器具を使ってみる A 円筒レトラクター. 脊椎内視鏡下手術、吉田宗人 編、pp30-32、医学書院、東京、2017
56. 岩崎博第I部 基礎編 4章 手術器具を使ってみる Q&A4 フレキシブルアーム不具合時の対処法は?. 脊椎内視鏡下手術、吉田宗人 編、pp39、医学書院、東京、2017
57. 岩崎博第I部 基礎編 5章 内視鏡下手術 成功へのコツ. 脊椎内視鏡下手術、吉田宗人 編、pp43-46、pp53-54、医学書院、東京、2017
58. 岩崎博第I部 基礎編 6章 おさえておきたい内視鏡下手術の基本手技 Q&A8 カメラワークについて. 脊椎内視鏡下手術、吉田宗人 編、pp64、医学書院、東京、2017
59. 岩崎博第II部 手術手技編 8章 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術 (MEL) Q&A16 直のケリソンとカーブケリソンをどう使い分ける?. 脊椎内視鏡下手術、吉田宗人 編、pp110-111、医学書院、東京、2017
60. 岩崎博第II部 手術手技編 8章 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術 (MEL) Q&A17 見えているものの器具が届かない場合の対処法は?. 脊椎内視鏡下手術、吉田宗人 編、pp112-113、医学書院、東京、2017
61. 岩崎博第II部 手術手技編 13章 椎間孔部狭窄に対する内視鏡下手術 C 椎間孔部狭窄症診断のための電気生理学的検査 (SNAPDML). 脊椎内視鏡下手術、吉田宗人 編、pp158-159、医学書院、東京、2017
62. 岩崎博第II部 手術手技編 13章 椎間孔部狭窄に対する内視鏡下手術 Q&A28 椎間孔部狭窄症に対する手術成績不良症例. 脊椎内視鏡下手術、吉田宗人 編、pp160-161、医学書院、東京、2017

63. 岩崎博第 III 部 合併症対策編 A 日本整形外科学会の報告より. 脊椎内視鏡下手術、吉田宗人 編、pp212-213、医学書院、東京、2017
64. 岩崎博第 III 部 合併症対策編 C 硬膜損傷：パッチテクニック. 脊椎内視鏡下手術、吉田宗人 編、pp218-219、医学書院、東京、2017
65. 西井佑介：びまん性特発性骨増殖症に合併した腰椎黄色靭帯骨化症に対し内視鏡下椎弓切除術を行った 1 例. 「臨床整形外科」医学書院、東京、p 997-1002,2017

総説

1. 安藤宗治：High cervical の頸椎症. 脊椎脊髄 30：86-92, 2017
2. 南出晃人：脊椎内視鏡手術の適応と限界 頸椎疾患に対する内視鏡下手術 その適応と限界. 関節外科36(7): 697-703, 2017
3. 中川幸洋：腰椎疾患に対する内視鏡下手術 その適応と限界. 関節外科 36(7): 717-725, 2017
4. 中川幸洋 吉田宗人：パーキンソン病と腰痛 腰椎の手術 適応と課題. 臨床整形外科 52:869-874, 2017
5. 寺口 真年, 橋爪 洋, 山田 宏, 吉村 典子, 吉田 宗人：腰痛の疫学 -The Wakayama Spine Study から得られた知見 -Epidemiology of low back pain from The Wakayama Spine Study. 臨床整形外科 2017. 52 巻, 第 12 号 医学書院
6. 寺口 真年：腰椎椎間板変性の新規発生の危険因子について -The Wakayama Spine Study-. 和歌山医学, 2017, 68 巻, 第 4 号 別冊

受賞

1. Minamide A : Distinguished Presentation Award in the Orthopaedic Summit 2017: Evolving Techniques

原著

1. 川上 守, 石元優々, 寺口真年, 北川智子, 谷川聖子, 松岡淑子: 頸椎症性脊髄症に対する後方除圧術の患者満足度に影響する因子—多次元評価の必要性—J Spine Research 8(3):522, 2017.
2. 川上 守, 石元優々, 寺口真年, 北川智子, 谷川聖子, 松岡淑子: 頸部脊髄症に対する後方除圧術の患者満足度の多次元評価とその影響因子. 日整会誌 91 (2):S1091,2017.
3. 川上 守: 姿勢異常による痛み、筋骨格系への過負荷. CLINICIAN 64:1057-1061, 2017.
4. 松本 卓二, 木村 友香子: リハビリテーション後に投与する栄養補助食品の大腿骨近位部骨折患者における栄養学的指標の改善効果. 日本静脈経腸栄養学会雑誌 (2189-0161)32 巻 3 号 Page1211-1214(2017.07)
5. 松本 卓二, 麻殖生 和博, 峠 康: 大腿骨転子部骨折の外側壁における不安定性についての考察. 骨折 39 巻 3 号 Page673-676(2017.06)
6. 松本 卓二: 大腿骨近位型髓内釘 INTERTAN ラグスクリューの外側皮質内陥入例の検討. 骨折 39 巻 3 号 Page670-672(2017.06)
7. 松本 卓二: 大腿骨転子部骨折における外側壁骨折が術後患者 ADL に及ぼす影響についての検討. 骨折 39 巻 Suppl. Page S414(2017.07)
8. 松本 卓二: 高齢者大腿骨近位部骨折と脊椎椎体骨折の栄養学的指標、身体学的指標を用いた患者プロフィールの比較検討. 骨折 39 巻 Suppl. Page S330(2017.07)
9. 松本 卓二: 外側壁骨折を伴う大腿骨転子部骨折における大腿骨近位部の骨形態についての検討. 骨折 39 巻 Suppl. Page S302(2017.07)
10. 松本 卓二, 安藤 宗治, 麻殖生 和博: びまん性特発性骨増殖症に伴う胸腰椎骨折手術患者における肋椎関節の形態学的検討と拘束性肺機能障害の検討. A Journal of Spine Research 8 巻 3 号 Page656(2017.03)

11. 松本 卓二, 木村 友香子, 西谷 幸子: BCAA を用いたリハ栄養の大腿骨近位部骨折における身体学的指標の改善効果 体重変動と CONUT の検討. 日本整形外科学会雑誌 (0021-5325)91 巻 3 号 Page S1158(2017.03)
12. 松本 卓二, 木村 友香子, 西谷 幸子: 高齢者大腿骨近位部骨折と脊椎椎体骨折における栄養学的指標、身体学的指標による患者プロフィールの比較. 日本整形外科学会雑誌 (0021-5325)91 巻 3 号 Page S768(2017.03)
13. 松本 卓二, 木村 友香子, 西谷 幸子: 大腿骨近位部骨折における BCAA を用いたリハビリテーション栄養の栄養学的指標および ADL スコアの改善効果. 日本静脈経腸栄養学会雑誌 32 巻 Suppl. Page562(2017.01)
14. 松本 卓二, 木村 友香子, 西谷 幸子: BCAA を用いたリハビリテーション栄養の大腿骨近位部骨折における体重変動と CONUT の改善効果. 日本静脈経腸栄養学会雑誌 32 巻 Suppl. Page489(2017.01)
15. 松本 卓二, 木村 友香子, 西谷 幸子: 大腿骨近位部骨折における BCAA を用いたリハビリテーション栄養の ADL 評価の検討 Barthel Index と FIM について. 日本静脈経腸栄養学会雑誌 32 巻 Suppl. Page356(2017.01)
16. 松本 卓二, 麻殖生 和博, 峠 康: 高齢者大腿骨転子部骨折における中野 3D-CT 分類を用いた遠位横止めを使用しない大腿骨近位部用 long nail の臨床成績の検討. 骨折 39 巻 2 号 Page344-347(2017.04)
17. 松本 卓二, 木村 友香子, 西谷 幸子: リハビリテーション後に投与する必須アミノ酸を含む栄養補助食品の大腿骨頸部骨折患者における栄養学的改善効果の検討. 日本骨粗鬆症学会雑誌 2 巻 Suppl.1 Page309(2016.09)
18. 松本 卓二, 峠 康, 安藤 宗治, 佐々木 俊二: 下肢整形外科手術施行患者における抗凝固剤であるエドキサバンとエノキサパリンの肝臓. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 60 巻春季学会 Page155(2017.04)
19. 松本 卓二: 【それは私たち専門職が守るべき責務 医原性の体重減少と栄養管理】 大腿骨近位部骨折患者の体重減少 医原性の体重減少と栄養管理 整形外科における病態と体重減少. 栄養経営エキスパート 2 巻 1 号 Page58-61(2017.01)
20. 松本 卓二: 大腿骨転子部骨折における外側壁骨折が術後患者 ADL に及ぼす影響についての検討. 骨折 39 巻 Suppl. Page S414(2017.07)
21. 松本 卓二: 高齢者大腿骨近位部骨折と脊椎椎体骨折の栄養学的指標、身体学的指標を用いた患者プロフィールの比較検討 (会議録). 骨折 39 巻 Suppl. Page S330(2017.07)
22. 松本 卓二: 外側壁骨折を伴う大腿骨転子部骨折における大腿骨近位部の骨形態についての検討. 骨折 (0287-2285)39 巻 Suppl. Page S302(2017.07)
23. Minamide A, Yoshida M, Iwahashi H, Simpson A, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Kagotani R, Sonekatsu M, Sasaki T, Shinto K, Deguchi T. Minimally invasive decompression surgery for lumbar spinal stenosis with degenerative scoliosis: predictive factors of radiographic and clinical outcomes. J Orthop Sci 22(3): 377-383, 2017
24. Minamide A, Yoshida M, Simpson A, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Takami M, Nakao S. Microendoscopic laminotomy versus conventional laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy – A 5-year follow-up study. J Neurosurg Spine 27(4): 403-409, 2017
25. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 湯川泰紹, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 籠谷良平: 脊椎内視鏡手術における神経根奇形への対処 –その診断と pitfall-. Journal of spine research 8(3): 491, 2017
26. Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Yukawa Y, Minamide A, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Nakao S: Clinical results of posterior cervical microendoscopic surgery for cervical spondylotic amyotrophy.. 日整会誌 91(2), 2017 S103
27. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 湯川泰紹, 南出晃人, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 中尾慎一: スポーツ選手に対する頸椎内視鏡手術. 日整会誌 91(3), 2017 S700
28. 岩崎博, 山田 宏, 橋爪 洋, 南出晃人, 中川幸洋, 吉田宗人: 問題点の検討 経頭蓋電気刺激筋誘発電位モニタリングによる術中体位関連神経障害の予防. 整形外科 68(6):545-549, 2017
29. 岩崎博, 山田 宏, 橋爪 洋, 南出晃人, 中川幸洋, 筒井俊二, 高見正成, 中尾慎一, 吉田宗人: MRI における体位による腸管・腎臓移動 低侵襲側方進入椎体間固定術を安全に行うために. 臨整外 52(3): 285-290, 2017

30. Kazunori Nomura, Munehito Yoshida. Assessment of the learning curve for lumbar spinal canal stenosis through an analysis of 480 cases involving a single surgeon. *Global Spine J* 2017; 7: 54-58.
31. Takami M, Okada M, Enyo Y, Iwasaki H, Yamada H, Yoshida M. Noncontiguous double-level unstable spinal injuries. *Eur J Orthop Surg Traumatol*. 2017 Jan;27(1):79-86.
32. 高見正成、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、湯川泰紹、南出晃人、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、中尾慎一：腰椎変性後側彎症に対する低侵襲側方進入椎体間固定術における椎体回旋矯正効果. *Journal of Spine Research*8(8),1422-1426,2017
33. Taniguchi T, Taniguchi W, Miyamoto E, Miyazaki N, Yoshida M: A strategic Protocol to improve the process and outcome of two-stage revision total hip arthroplasty. *Acta Med Okayama*(2017)
34. Taniguchi T, Sonekatsu M, Taniguchi W, Miyamoto E, Miyazaki N, Yoshida M: Acetabular Reconstruction with Massive Allograft Shaped to the Cavity and Kerboul-type Acetabular Reinforcement Device for Multiple Failures of Impaction Bone Graft: A Case Report. *Open Journal of Orthopedics*(2017)7:14-20
35. Ishimoto Y, Yoshimura N, Yamada H, Nagata K, Hashizume H, Takiguchi N, Minamide A, Oka H, Tanaka S, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Muraki S, Yoshida M*: Association of Lumbar Spondylolisthesis with Low Back Pain and Symptomatic Lumbar Spinal Stenosis in a Population-based Cohort: The Wakayama Spine Study. *Spine* 42:E666-E671, 2017
36. 石元優々、川上 守、長田圭司、松岡淑子、谷川聖子. 腰椎手術後の髄液瘻に対する静脈血注入療法. *臨床整形外科* 52:173-177, 2017.
37. Takashi Kitano, Hiroshi Yamada, Maki Kida, Yuka Okada, Shizuya Saika, Munehito Yoshida: Impaired healing of a cutaneous wound in an inducible nitric oxide synthase-knockout mouse. *Dermatology Research and Practice: Volume 2017*
38. Daisuke Nishiyama, Kosaku Matsuzaki, Satoru Yamazaki, Noboru Takiguchi, Teiji Harada, Shigeki Sando: Risk factors associated with complications following total hip arthroplasty using the two-incision technique. *Journal of Orthopaedic Surgery*, vol. 25, 1, First Published January 18, 2017.
39. 西山大介, 松崎交作, 山崎悟, 岡田紗枝, 原田悌志, 小島博嗣: 人工股関節置換術における軟部組織の至適緊張度に関する研究. *済生会医学・福祉共同研究 平成 28 年度版*: 44-46, 2017
40. 西山大介, 松崎交作, 山崎悟, 岡田紗枝, 中村憲太, 太地良: 人工股関節全置換術後における深部静脈血栓症新規発生予測式の検討. *日本人工関節学会誌* 47 巻: 317-318, 2017
41. Keiji Nagata, Noriko Yoshimura, Hiroshi Hashizume, Yuyu Ishimoto, Shigeyuki Muraki, Hiroshi Yamada, Hiroyuki Oka, Hiroshi Kawaguchi, Toru Akune, Sakae Tanaka, Kozo Nakamura, Munehito Yoshida : The prevalence of tandem spinal stenosis and its characteristics in a population-based MRI study: The Wakayama Spine Study. *Eur Spine J*. 2017 Oct;26(10):2529-2535
42. Daisuke Fukui, Mamoru Kawakami, Shin-ichi Nakao, Erabu Miyamoto, Shouko Morisita, Toshiko Matuoka, Hiroshi Yamada. Reduced blood loss and operation time in lumbar posterolateral fusion using a bipolar sealer. *European Spine Journal* 26(3):736-732, 2017.
43. Daisuke Fukui, Mamoru Kawakami, Kevin Cheng, Koichiro Murata, Keianne Yamada, Rinoka Sato, Munehito Yoshida, Hiroshi Yamada, Nozomu Inoue, Koichi Masuda: Three-dimensional micro-computed tomography analysis for spinal instability after lumbar facetectomy in the rat. : *European Spine Journal* 26(8):2014-2020, 2017.
44. Fukui D, Kawakami M, Matsumoto T, Naiki M : Stress enhances gait disturbance induced by lumbar disc degeneration in rat. *Eur Spine J*. 2017 27(1), 205-213 doi 10.1007/s00586-017-5243-z
45. 福井大輔、川上 守、山田 宏: 反復寒冷ストレス下の腰椎椎間板変性ラットモデルの疼痛行動に影響する薬物の検討. *日整会誌* 91 (8):S1533, 2017.

46. T Shimoe, K Doi, T Madura, KK Kumar, TD Montales, Y Hattori, S Sakamoto, K Yukata, M Yoshida: Analysis of shoulder abduction by dynamic shoulder radiograph following suprascapular nerve repair in brachial plexus injury. *J Orthop Sci* 22:840-845, 2017
47. Asai Y, Tsutsui S, Oka H, Yoshimura N, Hashizume H, Yamada H, Akune T, Muraki S, Matsudaira K, Kawaguchi H, Nakamura K, Tanaka S, Yoshida M. Sagittal spino-pelvic alignment in adults: The Wakayama Spine Study. *PLoS One* 12 :e0178697, 2017.
48. M. Teraguchi, N. Yoshimura, H. hashizume, H. Yamada, H. Oka, A. Minamide, K. Nagata, Y. Ishimoto, R. Kagotani, H. Kawaguchi, S. Tanaka, T. Akune, K. Nakamura, S. Muraki, M. Yoshida :Progression, incidence, and risk factors for intervertebral disc degeneration in a longitudinal population-based cohort: the Wakayama Spine Study, *Osteoarthritis and Cartilage* 2017. 25. 1122-31
49. 寺口真年, 橋爪 洋, 山田 宏, 吉村典子, 吉田宗人 : 誌上シンポジウム, 慢性腰痛のサイエンス, 腰痛の疫学 : The Wakayama Spine Study から得られた知見. *臨床整形外科* 52(12):1125-1131, 2017
50. Takahide Sasaki, Noriko Yoshimura, Hiroshi Hashizume, Hiroshi Yamada, Hiroki Oka, Ko Matsudaira, Hiroki Iwahashi, Kazunori Shinto, Yuyu Ishimoto, Keiji Nagata, Masatoshi Teraguchi, Ryohei Kagotani, Shigeyuki Muraki, Toru Akune, Sakae Tanaka, Hiroshi Kawaguchi, Kozo Nakamura, Akihito Minamide, Yukihiro Nakagawa, Munehito Yoshida MRI-defined paraspinal muscle morphology in Japanese population: The Wakayama Spine Study. *PLoS One*. 2017 Nov 8;12(11):e0187765. doi: 10.1371/journal.pone.0187765. eCollection 2017.
51. 山東茂樹、南 晋司、窪田誠治、木下裕文 : レボフロキサシン内服後に両側アキレス腱断裂を発症した透析患者の 1 例. *和歌山医学* 2017: 68(2):152 (抄録)
52. 西岡 修平 林未統 木岡 雅彦 峰 巨: 上腕骨顆上骨折後の内反肘に対し創外固定を用いて矯正骨切り術を行った 1 例. *中部日本整形外科災害外科学会雑誌* (0008-9443)60 巻 1 号 Page165-166(2017.01)
53. Deguchi T, Tsutsui S, Iwahashi H, Nakagawa Y, Yoshida M. Efficacy and safety of novel high-frequency multi-train stimulation for recording transcranial motor evoked potentials in a rat model. *J Clin Monit Comput* 31(5):1053-1058, 2017
54. 木戸勇介 福井大輔 谷口隆哉 谷口 亘 宮本 選 山田 宏 : ACL/PCL 再建術後に生じた横紋筋融解症による急性腎不全の一例. *中部整形外科災害外科学会雑誌* 60 巻秋季学会 Page190(2017.09)
55. 山屋誠司, 野村和教, 中村陽介, 井樋栄二, 吉田宗人. 従来 MED で治療してきた患者は, transforaminal PED で治療が可能か?—safety triangle zone と刺入部椎間板高に注目した検討—. *J Spine Res.* 2017; 8: 1375-1380.
56. 三島令子・瀬下 崇・盛島 利文・伊部茂晴・小崎慶介・朝貝芳美・峰松康治・栗田和洋・岡安 勤・志村 司・鱸俊明・星野弘太郎・柳園賜一郎: 成人脳性麻痺者 (40 歳未満) の健康調査報告の概要. *日本脳性麻痺の外科研究会誌* 27:11-22, 2017
57. Yuichi Kasai, Mitsuru Fukui, Kazuhisa Takahashi, Seiji Ohtori, Daisaku Takeuchi, Hiroshi Hashizume, Masahiko Kanamori, Noboru Hosono, Tsukasa Kanchiku, Eiji Wada, Miho Sekiguchi, Shinichi Konno, Mamoru Kawakami: Verification of the sensitivity of functional scores for treatment results - Substantial clinical benefit thresholds for the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire (JOABPEQ). *J Orthopaedic Science* 22: 665-669, 2017.
58. 森下詔子, 川上 守, 石元優々, 中尾慎一, 松岡淑子 : 介護職員の腰痛で有病率とその JOABPEQ を含めた QOL 評価との関係について. *臨床整形外科* 52:1041-1044, 2017
59. 北川智子, 川上 守, 石元優々, 寺口真年, 森下詔子, 松岡淑子: 腰部脊柱管狭窄症術前患者の患者立脚型評価と心理因子の関連性について. *J Spine Research* 8(3):241, 2017.
60. 北川智子, 川上 守, 石元優々, 寺口真年, 谷川聖子, 森下詔子, 松岡淑子: 腰部脊柱管狭窄症の患者立脚型評価には心理的因子が関与する. *日整会誌* 91 (2):S1151, 2017.

61. 北川智子、川上 守、石元優々、寺口真年、谷川聖子、森下詔子、松岡淑子: 高齢者腰部脊柱管狭窄症患者の手術満足度に影響する術前心理的因子の検討. 臨床整形外科 52 (6):569-574,2017.
62. 松山幸弘、海渡貴司、川上 守、井上 玄、今釜史郎、西田憲太郎、波呂浩孝、宮腰尚久、村上英樹、山崎正志、山田 宏、田口敏彦、持田讓治、新谷 歩、田倉智之、山下敏彦: 日本脊椎脊髄病学会 学会プロジェクトー慢性腰痛症に対する薬物治療の臨床経済性に関わる評価— J Spine Research 8(3):439, 2017.
63. 海渡貴司、松山幸弘、川上 守、井上 玄、今釜史郎、西田憲太郎、波呂浩孝、宮腰尚久、村上英樹、山崎正志、山田 宏、田口敏彦、持田讓治、新谷 歩、田倉智之、山下敏彦: 慢性腰痛症に対する薬物治療の臨床評価. J Spine Research 8(3):440, 2017.
64. 新谷 歩、松山幸弘、海渡貴司、川上 守、井上 玄、今釜史郎、西田憲太郎、波呂浩孝、宮腰尚久、村上英樹、山崎正志、山田 宏、田口敏彦、持田讓治、田倉智之、山下敏彦: 大規模臨床観察データの統計学的解析のポイントとピットフォール. J Spine Research 8(3):440, 2017.
65. 中川雅文、川上 守、長田圭司、石元優々、寺口真年、峯玉賢和、北川智子: 頸部愁訴の矢状面全脊椎骨盤アライメントと QOL の関係. J Spine Research 8(3):737, 2017.
66. 中川雅文、川上 守、石元優々、寺口真年、森下詔子、北川智子、峯玉賢和、山本義男、左近奈菜、隅谷 政: 急性期有痛性骨粗鬆症性地帯骨折に対する活動性維持療法の有用性. 日整会誌 91 (2):S127,2017.
67. 峯玉賢和、川上 守、石元優々、寺口真年、隅谷 政、北川智子、三宅隆広、山本義男、中川雅文、左近奈菜、森下詔子: 腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法と手術療法の比較— 2年間の過去起点前向き研究. 日整会誌 91 (2):S467,2017.
68. 竹内大作、種市 洋、橋爪 洋、金森昌彦、寒竹 司、金山雅弘、松本守雄、松山幸弘、笠井裕一、竹下克志、山崎 建、田中信弘、松永俊二、宮本雅史、田中雅人、紺野慎一、川上 守: 腰椎変性側弯症の健康関連 QOL 低下に及ぼすエックス線学的パラメータを検討する多施設横断的研究. 日整会誌 91 (2):S730,2017.
69. 川口義治、川上 守、佐藤栄修、永島英樹、伊東 学、岩崎幹季、Samartzis Dino: 腰椎変性すべりの危険因子—椎間関節角度の解析—AOSpine 国際他施設共同研究. 日整会誌 91 (2):S742,2017.
70. 山田 圭、松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、山本直也、小林 祥、寒竹 司、今釜史郎、小林和克、和田簡一郎、田所伸朗、高橋雅人、藤原 靖、木田和伸、溝田敦子、角谷 智、谷 俊一、長濱 賢、岩崎 博、村本明生、関 庄二、平尾雄二郎、清水敬親、大田 亮、齋藤貴徳、里見和彦、四宮謙一: 脊柱変形手術による神経障害機序の検討—日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループ多施設前向き研究—. Journal of Spine Research 8 (9) : 1493-1501, 2017
71. Kodama R, Muraki S, Iidaka T, Oka H, Teraguchi M, Kagotani R, Asai Y, Hashizume H, Yoshida M, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Tanaka S, Yoshimura N. Serum levels of matrix metalloproteinase-3 and autoantibodies related to rheumatoid arthritis in the general Japanese population and their association with osteoporosis and osteoarthritis: the ROAD study. J Bone Miner Metab. 2017 Apr 1. doi: 10.1007/s00774-017-0834-7.2017
72. Kasai Y, Fukui M, Takahashi K, Ohtori S, Takeuchi D, Hashizume H, Kanamori M, Hosono N, Kanchiku T, Wada E, Sekiguchi M, Konno S, Kawakami M. Verification of the sensitivity of functional scores for treatment results - Substantial clinical benefit thresholds for the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire (JOABPEQ). J Orthop Sci. 22:665-669, 2017.
73. Nakamura M, Hashizume H, Nomura S, Kono R, Utsunomiya H. The Relationship between Locomotive Syndrome and Depression in Community-Dwelling Elderly People. Curr Gerontol Geriatr Res. 2017:4104802, 2017.
74. Nakamura M, Tazaki F, Nomura K, Takano T, Hashimoto M, Hashizume H, Kamei I. Cognitive impairment associated with locomotive syndrome in community-dwelling elderly women in Japan. Clin Interv Aging. 12:1451-1457, 2017.
75. Morita D, Yukawa Y, Nakashima H, Ito K, Yoshida G, Machino M, Kanbara S, Iwase T, Kato F. Dynamic changes in the cross-sectional area of the dural sac and spinal cord in the thoracic spine. Eur Spine J. 2017 Jan;26(1):64-70.
76. 木村 友香子、松本 卓二、西谷 幸子: 高齢者大腿骨近位部骨折と脊椎椎体骨折における栄養学的指標、身体学的指標によ

る患者プロフィールの比較. 日本静脈経腸栄養学会雑誌 32 巻 Suppl. Page558(2017.01)

77. Kobayashi K, Imagama S, Ando K, Ishiguro N, Yamashita M, Eguchi Y, Matsumoto M, Ishii K, Hikata T, Seki S, Terai H, Suzuki A, Tamai K, Aramomi M, Ishikawa T, Kimura A, Inoue H, Inoue G, Miyagi M, Saito W, Yamada K1, Hongo M, Nishimura H, Suzuki H, Nakano A, Watanabe K, Chikuda H, Ohya J, Aoki Y, Shimizu M, Futatsugi T, Mukaiyama K, Hasegawa M, Kiyasu K, Iizuka H, Iizuka Y, Kobayashi R, Nishida K, Kakutani K, Nakajima H, Murakami H, Demura S, Kato S, Yoshioka K, Namikawa T, Watanabe K, Nakanishi K, Nakagawa Y, Yoshimoto M, Fujiwara H, Nishida N, Imajo Y, Yamazaki M, Sakane M, Abe T, Fujii K, Kaito T, Furuya T, Orita S, Ohtori S : Risk Factors for Delirium After Spine Surgery in Extremely Elderly Patients Aged 80 Years or Older and Review of the Literature: Japan Association of Spine Surgeons with Ambition Multicenter Study. Global Spine J. 2017 Sep;7(6):560-566. doi: 10.1177/2192568217700115. Epub 2017 Apr 11
78. Kobayashi K, Imagama S, Ando K, Ishiguro N, Yamashita M, Eguchi Y, Matsumoto M, Ishii K, Hikata T, Seki S, Terai H, Suzuki A, Tamai K, Aramomi M, Ishikawa T, Kimura A, Inoue H, Inoue G, Miyagi M, Saito W, Yamada K1, Hongo M, Nishimura H, Suzuki H, Nakano A, Watanabe K, Chikuda H, Ohya J, Aoki Y, Shimizu M, Futatsugi T, Mukaiyama K, Hasegawa M, Kiyasu K, Iizuka H, Iizuka Y, Kobayashi R, Nishida K, Kakutani K, Nakajima H, Murakami H, Demura S, Kato S, Yoshioka K, Namikawa T, Watanabe K, Nakanishi K, Nakagawa Y, Yoshimoto M, Fujiwara H, Nishida N, Imajo Y, Yamazaki M, Sakane M, Abe T, Fujii K, Kaito T, Furuya T, Orita S, Ohtori S : Complications Associated With Spine Surgery in Patients Aged 80 Years or Older: Japan Association of Spine Surgeons with Ambition (JASA) Multicenter Study . Global Spine J. 2017 Oct;7(7):636-641. doi: 10.1177/2192568217716144. Epub 2017 Jul 20.

Case report

1. Keiji Nagata, Hiroshi Hashizume, Hiroshi Yamada, Munehito Yoshida : Long-term survival case of malignant glomus tumor mimicking "dumbbell-shaped" neurogenic tumor. European Spine J, 2017 May;26 (Suppl 1):42-46.

その他の論文 (症例報告等)

1. 橋爪 洋 : X線診断 Q&A 臨床雑誌整形外科 vol. 68, No10, 1099-100, 2017

依頼原稿

1. 湯川泰紹 : 「脊椎圧迫骨折」 整形外科看護 2017 Vol22; 359-364

学会報告

受賞

1. Muneharu Ando : Scientific Achievement Award, American Society of Neurophysiological Monitoring. annual meeting. May 2017, Cleveland, USA

a) 国際学会

1. Mamoru Kawakami, Yuyu Ishimoto, Keiji Nagata, Tomoko Kitagawa. A multidimensional assessment of patient satisfaction with laminoplasty for cervical myelopathy. 8th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section Kobe, March 9 - 11, 2017
2. Muneharu Ando, Tetsuya Tamaki. Muscle evoked potentials after spinal cord stimulation can monitor motor tact. 2017 American Society of Neurophysiological Monitoring annual meeting. May 2017, Cleveland, USA
3. Yukawa Y : Thoracic spine (Symposium) Degenerative thoracic myelopathy. APSS-APPOS, Sep 22-24, 2017, Goa, India, Oral

4. Yukawa Y : Double door laminoplasty with spinous process as a spacer - A experience of 2000 cases – 3rd annual conference of Himalayan Spine Symposium, Oct 26-27, 2017, Kathmandu, Nepal
5. Yukawa Y : Surgical treatment of OPLL in cervical spine 3rd annual conference of Himalayan Spine Symposium, Oct 26-27, 2017, Kathmandu, Nepal
6. Yukawa Y : Cervical pedicle screw technique for reconstruction of cervical spine 24th Annual Meeting of The Spine Society of HCMC, Dec 15, 2017, Hanoi, Viet Nam
7. Minamide A, Yoshida M, Simpson AK, Yamada H, Hashizume H, Yukawa Y, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Kagotani R. Microendoscopic laminotomy versus conventional laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy: A 5-year follow-up study. 8th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section, Kobe, Japan, 2017. 3. 10-11.
8. Minamide A, Yoshida M, Iwahashi H, Simpson AK, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Kagotani R. Minimally invasive decompression surgery for lumbar spinal stenosis with degenerative scoliosis: predictive factors of radiographic and clinical outcomes. 45th The International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting, Athens, Grece, 2017. 5. 29-6. 2.
9. Minamide A, Yoshida M, Simpson AK, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Yukawa Y. Microendoscopic laminotomy versus conventional laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy – A 5-year folloe-up study. Annual meeting of EUROSPINE 2017, Dublin, Ireland, 2017. 10. 11-14.
10. Minamide A, Yoshida M, Simpson AK, Iwahashi H, Kagotani R, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S. Minimally invasive decompression surgery for lumbar spinal stenosis with degenerative scoliosis: predictive factors of radiographic and clinical outcomes. Annual meeting of EUROSPINE 2017, Dublin, Ireland, 2017. 10. 11-14.
11. Yukihiro Nakagawa : Debate – My Preference; Minimal Downward Migrated paracentral HNP L4-5-MED/MEL. The 6th Asian congress of MISST combined with 3rd ASEAN MISST(in collaboration with NASS), June 29-July 2, Bangkok, Thailand
12. Yukihiro Nakagawa : Lunch Special Session : Debate 2. Spondylolisthesis grade I with bilateral leg pain & claudication(back pain: leg pain=40: 60) 3. Degenerative scoliosis 25 degree with lt radiculopathy (back pain: leg pain= 30:70). The 6th Asian congress of MISST combined with 3rd ASEAN MISST(in collaboration with NASS), June 29-July 2, Bangkok, Thailand
13. Yukihiro Nakagawa, Hiroshi Yamada, Hiroshi Hashizume, Yasutsugu Yukawa, Akihito Minamide, Hiroshi Iwasaki, Shunji Tsutsui, Masanari Takami, Ryohei Kagotai : Clinical results of posterior cervical microendoscopic surgery for cervical spondylotic amyotrophy. PASMISS 2017, July 27-29, Sapporo, 2017
14. Yukihiro Nakagawa, Hiroshi Yamada, Hiroshi Hashizume, Yasutsugu Yukawa, Akihito Minamide, Hiroshi Iwasaki, Shunji Tsutsui, Masanari Takami : Posterior cervical microenbdoscopic surgery for the treatment of radiculopathy and myelopathy in the athlete. Society for Minimally Invasive Spine Surgery (SMISS) annual forum2017, September 14-16, 2017, Las Vegas, USA
15. Masanari Takami, Munehito Yoshida, Hiroshi Yamada, Hiroshi Hashizume, Yasutsugu Yukawa, Akihito Minamide, Yukihiro Nakagawa, Hiroshi Iwasaki, Shunji Tsutsui, Shin-ichi Nakao: Efficacy of vertebral rotational reduction by using lateral lumbar interbody fusion for cases with adult spinal deformity. The 17th Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery (Sapporo, Japan) 28 July,2017
16. Yuyu Ishimoto, Mamoru Kawakami, Masatoshi Teraguchi, Shin-ichi Nakao, Keiji Nagata, Tomoko Kitagawa, Nami Moriguchi: Surgical outcomes of pedicle screw with cortical bone trajectory compared with conventional trajectory for patients with lumbar spinal stenosis: a 1-year follow-up study. The 44th Annual meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine, Athens, Greece, May 29 – June 2, 2017
17. Keiji Nagata, Noriko Yoshimura, Shigeyuki Muraki, Ryohei Kagotani, Hiroshi Hashizume, Hiroshi Yamada, Yuyu Ishimoto, Sakae Tanaka, Munehito Yoshida : Radiographic ossification of the posterior longitudinal ligament (OPLL) are strongly associated with diffuse idiopathic skeletal hyperostosis (DISH) in a population-based ROAD study: The ROAD study, CSRS AP in Kobe 2017/3/11

18. Keiji Nagata, Mamoru Kawakami, Yuyu Ishimoto, Shoko Morishita, Tomoko Kitagawa, Masafumi Nakagawa, Masakazu Minetama : Neck complaints are associated with spino-pelvic sagittal alignments in healthy volunteer, CSRSAP in Kobe 2017/3/11
19. Keiji Nagata, Gabriel Liu, Hee Kit Wong, Naresh Kumar : The dual sacral-alar-iliac screws as a salvage technique for pelvic fixation following transforaminal interbody fusion, APSS in GOA 2017/9/23
20. Keiji Nagata, Noriko Yoshimura, Hiroshi Hashizume, Yuyu Ishimoto, Hiroshi Yamada, Akihito Minamide, Shigeyuki Muraki, Munehito Yoshida : The radiological predictive factor for cervical myelopathy in a population-based study : The Wakayama Spine Study, APSS in GOA 2017/9/23
21. Keiji Nagata, Noriko Yoshimura, Hiroshi Hashizume, Yuyu Ishimoto, Hiroshi Yamada, Akihito Minamide, Shigeyuki Muraki, Munehito Yoshida : Physical Performance Decreases In The Early Stage Of Cervical Myelopathy Before The Myelopathic Signs Appear: The Wakayama Spine Study, CSRS in Florida 2017/12/1
22. Daisuke Fukui, Mamoru Kawakami : Which Medications Are Effective for Changing Behaviors Induced by Lumbar Facetectomy and Repeated Cold Stress in Rats?. Orthopaedics Research Society, San Diego, 2017.3.19-3.27
23. Daisuke Fukui, Mamoru Kawakami : Pharmacometrics for Changing Behaviors Induced by Lumbar Facetectomy and Repeated Cold Stress in Rats. International Society for the Study of the Lumbar Spine, Athenes, 2017.5.29-6.2
24. Kagotani R, Tsutsui S, Yamada H, Hashizume H, Yukawa Y, Minamide A, Nakagawa Y, Iwasaki H, Takami M, Nakao S, Yoshida M: Radiographic evaluation of intervertebral cage subsidence in lateral retroperitoneal transposas lumbar interbody fusion. 24th International Meeting on Advanced Spine Techniques, Cape Town, South Africa, 2017
25. M. Teraguchi, J. Cheung, J. Karppinen, C. Bow, H. Hashizume, K. Luk, K. Cheung, D Samartzis.: Lumbar high-intensity zones on MRI: imaging biomarkers for severe, prolonged low back pain and sciatica in a population-based cohort. International society for study of lumbar spine, 44th annual meeting 2017. 5, Athens Greek
26. M. Teraguchi, M. Kawakami, N. Moriguchi, Y. Ishimoto : Efficacy of blood injection therapy for stopping cerebrospinal fluid leakage after lumbar spine surgery . The 17 th Annual Meeting of the Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery 2017. 7, Sapporo
27. Takahiro Maeda, Hiroshi Yamada, Yasutsugu Yukawa, Hiroshi Hashizume, Akihito Minamide, Yukihiro Nakagawa, Hiroshi Iwasaki, Shunji Tsutsui, Masanari Takami, Munehito Yoshida A new surgical technique to avoid iatrogenic endplate injury in XLIF® procedure 第17回 Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery(PASMISS) 北海道札幌市 2017年7月
28. Sonekatsu M, Chang W, Kanda H, Ling J, Jianguo G. Gu : Effects of vincristine on Piezo2 channels and tactile responses of whisker hair follicles. Society for Neuroscience 47th annual meeting, 2017.11. Washington DC
29. Tomoko Kitagawa, Mamoru Kawakami, Yuyu Ishimoto, Masatoshi Teraguchi, Masakazu Minetama, Masahumi Nakagawa, Daisuke Fukui: Relationships between preoperative psychological factors and patient-reported outcomes in patients with lumbar spinal stenosis. The 44th Annual meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine, Athens, Greece, May 29 – June 2, 2017
30. Masakazu Minetama, Mamoru Kawakami, Yuyu Ishimoto, Keiji Nagata, Masatoshi Teraguchi, Tomoko Kitagawa, Tadashi Sumiya, Takahiro Miyake, Yoshio Yamamoto, Masafumi Nakagawa, Nana Sakon, Toshiko Matsuoka: Two - year follow - up of physical therapy versus surgical therapy for patients with lumbar spinal stenosis. The 44th Annual meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine, Athens, Greece, May 29 – June 2, 2017

b) シンポジウム

1. 山田 宏 : XLIF® 適応と手術手技 第46回日本脊椎脊髄病学会 2017年4月13日 札幌市
2. 山田 宏 吉田宗人 : 内視鏡後方手技 (MED) の技術革新と今後 第90回日本整形外科学会総会 2017年5月19日 仙台市

3. 山田 宏：高齢者の腰椎変性疾患に対する手術戦略 整形外科医の立場から 除圧術でどこまで可能か 日本脳神経外科学会第 76 回学術総会 2017 年 10 月 14 日 名古屋市
4. 山田 宏：腰椎椎間孔狭窄症の診断と治療 第 25 回日本腰痛学会 2017 年 11 月 3 日
5. 山田 宏：胸腰椎疾患における脊椎内視鏡手術の今後の可能性 第 30 回日本内視鏡学会総会 2017 年 12 月 9 日
6. 安藤宗治、玉置哲也. 術中神経生理モニタリングにおける各種誘発電位の比較検討. 第 47 回日本臨床神経生理学学会、2017、11、横浜市
7. Hashizume H: Drug therapy for chronic low back pain: a strategy based on the pain mechanisms, evidence and the speaker's clinical experience. Luncheon Seminar at 8th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society –Asia Pacific Section-, 2017.3, Kobe, Japan
8. 橋爪 洋：慢性腰痛症の薬物療法：痛みのメカニズム・エビデンス・臨床経験に基づく治療戦略. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会イブニングセミナー-8, 2017.4, 札幌
9. 橋爪 洋：脊椎加齢変性疾患の疫学研究-The Wakayama Spine Study. 第 16 回 NeuroSpinal セミナー特別講演, 2017.2, 和歌山
10. 橋爪 洋, 吉村典子, 佐々木貴英, 岩橋弘樹, 岡 敬之, 西村行秀, 村木重之, 松平 浩, 山田 宏, 吉田宗人. 一般住民における脊柱周囲筋群の評価と応用-The Wakayama Spine Study- 第 46 回日本脊椎脊髄病学会シンポジウム 3 一般住民検診からみた脊椎脊髄疾患の評価と応用. 2017.4. 札幌
11. 橋爪 洋, 山田 宏, 吉村典子, 吉田宗人. 腰椎加齢変性の疫学研究-The Wakayama Spine Study-, シンポジウム 13 脊椎外科における大規模コホート研究と手術登録. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 2017.5, 仙台
12. 橋爪 洋, 吉村典子, 山田 宏, 吉田宗人：ロコモ予防のための啓発活動と運動介入が参加住民に及ぼす効果について：和歌山県美浜町における検証結果. 第 72 回体力医学会大会シンポジウム-ロコモティブシンドロームの現状と対策, 2017.9, 松山
13. 南出晃人、吉田宗人：脊椎疾患に対する内視鏡下除圧術の適応とその有用性. 第 20 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 札幌市, 2017. 7. 26-27.
14. Tsutsui S, Yamada H, Hashizume H, Yukawa Y, Minamide A, Nakagawa Y, Iwasaki H, Takami M: Efficacy of lateral interbody fusion in adult spinal deformity surgery: comparison with posterior-only surgery. 1st Society of Lateral Access Surgery Japan Resional Meeting, Tokyo, Japan, 2017

海外講演

1. Yukawa Y ; Surgical technique and management of subaxial spine AOSpine Korea Advanced course, May 13, 2017, Seoul
2. Yukawa Y : How to identify a clinical problem for research? AOPEER Basics in Clinical Research course, Sep 2, 2017, Hong Kong
3. Yukawa Y : Classification and treatment of lower cervical spinal Injury AOSpine Myanmar Advanced Course, Dec 2, 2017, Yangon, Myanmar
4. Yukawa Y. : Surgical management of cervical spondylotic myelopathy: Anterior approach AOSpine Myanmar Advanced Course, Dec 2, 2017
5. Yukawa Y : Surgical technique of cervical pedicle screws fixation AOSpine Myanmar Advanced Course, Dec 2, 2017
6. Yukawa Y : Cervical OPLL: Anterior or posterior approach AOSpine Myanmar Advanced Course, Dec 2, 2017
7. Minamide A: Advanced in minimally invasive spine surgery – Minimally invasive spinal posterior decompression surgery using endoscope for cervical disorders. Orhtopaedic Summit 2017: Evolving Techniques, Las Vegas, NV, USA, 2017. 12. 6-9.
8. 高見正成 脊椎脊髄外科における合併症. 第 33 回和歌山脊椎脊髄外科フォーラム (2017.6.23) 和歌山市

c) 学術講演等

1. 山田 宏：脊椎内視鏡下手術の現状と今後の展望 奈良県整形外科医会研修会 2017 年 2 月 4 日 奈良市
2. 山田 宏：日常診療でみられる運動器疼痛に対する治療～プレガバリンの上手な使い方～ 和歌山整形外科診療セミナー 2017 年 3 月 11 日 和歌山市

3. 山田 宏：内視鏡低侵襲手術・総論 脊椎内視鏡手術コース 内視鏡・低侵襲手術の現状 札幌市 2017年4月15日
4. 山田 宏：腰椎椎間孔狭窄症の診断と治療 弘前大学月例会合同開催・第38回青森県脊椎外科懇話会 2017年5月13日
5. 山田 宏：腰椎椎間孔部狭窄症に対する治療戦略 第291回京都整形外科医会 2017年6月24日
6. 山田 宏：脊柱変形に対する新しい低侵襲手術―曲がった腰をまっすぐ伸ばすには？― 日高病院講演会 2017年7月25日 御坊市
7. 山田 宏：新しい疾患概念としての筋疲労性軸性疼痛（いわゆる腰曲がり）の診断と治療 弘前大学整形外科あすなろセミナー 2017年8月4日
8. 山田 宏：脊椎脊髄外科30年の経験から学んだこと 第110回東北大学脊椎外科懇話会 2017年9月9日
9. 山田 宏：疫学実態に基づいた脊椎加齢変性疾患の治療戦略「The Wakayama Spine Study」 第97回京都運動器フォーラム 2017年11月13日
10. 山田 宏：脊柱変形に対する新しい低侵襲手術―曲がった腰をまっすぐ伸ばすには？ 橋本市民病院講演会 2017年11月14日
11. 山田 宏：脊柱変形に対する新しい低侵襲手術―曲がった腰をまっすぐ伸ばすには？― 新宮講演会 2017年11月24日
12. 山田 宏：腰椎椎間孔狭窄症の診断と治療 第302回大阪臨床整形外科医会研修会 2017年11月25日
13. 山田 宏：脊柱変形に対する最新の低侵襲手術―曲がった腰をまっすぐ伸ばすには？ 最新の医療カンファレンス 2017年12月14日 和歌山市
14. 川上 守：あなたの腰痛―「ヘルニア」から「狭窄」について、紀北健康出前講座 平成29年12月22日 九度山
15. 橋爪 洋：骨粗鬆症について、平成28年度（第2回）和歌山県在宅保健師の会研修会, 2017.1, 和歌山
16. 橋爪 洋：腰痛症の薬物療法―痛みメカニズムに基づく治療戦略. 泉佐野慢性疼痛セミナー, 2017.1, 泉佐野
17. 橋爪 洋：腰痛症の薬物療法―痛みメカニズムに基づく治療戦略. サインバルタ User's Meeting, 2017.2, 堺
18. 橋爪 洋：整形外科医から見た慢性腰痛症に対する治療戦略. HANSHIN Pain/Osteoporosis Conference, 2017.4, 西宮
19. 橋爪 洋：腰痛症の薬物療法―痛みメカニズム・エビデンス・臨床経験に基づく治療戦略. 北摂慢性疼痛を考える会, 2017.7, 大阪
20. 橋爪 洋：腰痛症の薬物療法―痛みメカニズム・エビデンス・臨床経験に基づく治療戦略. 貴志川慢性腰痛を考える会, 2017.7, 紀の川
21. 橋爪 洋：腰痛症の薬物療法―痛みメカニズム・エビデンス・臨床経験に基づく治療戦略. 鹿児島疼痛学術講演会, 2017.10, 鹿児島
22. 橋爪 洋：慢性腰痛症の薬物療法―痛みメカニズム・エビデンス・臨床経験に基づく治療戦略. 慢性腰痛を考える一専門医の治療戦略, 2017.11, 高松
23. 湯川泰紹：脊椎脊髄損傷の急性期治療. 南和歌山オープンセミナー, 2017.1.13
24. 湯川泰紹：圧迫性頸髄症 診断・治療の最前線. 和歌山臨床整形外科医会, 2017.3.25, 和歌山
25. 南出晃人：低侵襲余圧術からみた腰椎変性すべり症に対する治療戦略. 第50回大阪脊椎外科フォーラム, 大阪市, 2017.1.21.
26. 南出晃人：頸椎変性疾患に対する内視鏡下除圧術の適応. 第8回和歌の浦低侵襲頸椎外科セミナー, 和歌山市, 2017.6.17.
27. 中川幸洋：頸椎疾患に対するMED法の応用. 第15回脊椎脊髄病研修コース 2017.4.15, 札幌
28. 中川幸洋：頸椎変性疾患における治療法選択のタイミングと判断. 和歌山脊椎セミナー, 2017.4.22, 和歌山市
29. 中川幸洋：脊椎内視鏡手術の適応拡大と将来展望―腰部脊柱管狭窄症から頸椎疾患まで. 第40回青森市脊椎カンファレンス 2017.5.12, 青森市
30. 中川幸洋：腰椎椎間板ヘルニア（アスリートにおける終板障害を含む）に対する内視鏡下ヘルニア摘出術―手術手技の基本とポイント. 第8回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2017.6.17 和歌山市
31. Yukihiro Nakagawa : Microendoscopic Technique in Lumbar Decompression. The 6th Asian congress of MISST combined with 3rd ASEAN MISST(in collaboration with NASS), June 29-July 2, Bangkok, Thailand
32. Yukihiro Nakagawa : Current Application and Future of MED/MEL in Spine Surgery. The 6th Asian congress of MISST combined with 3rd ASEAN MISST(in collaboration with NASS), June 29-July 2, Bangkok, Thailand
33. 中川幸洋：スポーツ選手に対する頸椎内視鏡手術. 第1回北河内整形外科セミナー（関西医科大学整形外科同門会研修会）2017.9.9, 関西医科大学枚方学舎13階同窓会大会議室, 枚方市

34. 中川幸洋：びまん性特発性骨増殖症(DISH)と脊椎損傷・脊椎障害. 有田市医師会救急医療研修会 2017.9.30 紀州有田商工会議所 6F 大会議室、有田市
35. 岩崎 博：腰部脊柱管狭窄症（椎間孔部狭窄含む）に対する内視鏡下除圧術の手術手技. 第 8 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー, 和歌山市, 2017.6.17
36. 岩崎 博、皆川洋至、吉田眞一、宮武和馬、今西宣晶：脊椎疾患に対するエコーガイド下 Hydrorelease の実際. 先進運動器エコーフォーラム 2017 大阪大阪市, 2017.11.12
37. 谷口 隆哉：変形性股関節症. 公益社団法人 大阪府理学療法士会 泉州ブロック 第 8 回市民公開講座 2014.3.16 エブノ泉の森ホール
38. 谷口 隆哉：人工股関節置換術について～最近の知見～. 公益社団法人和歌山県理学療法専門研修会 2016.5. 22 和歌山県立医科大学 講堂
39. 谷口 隆哉：(1) 膝関節 ～より確実な再建を目指した人工膝関節 (2) 股関節 ～より機能的かつ長くもつ人工股関節 読売健康講座 市民公開講座, 2016.12. 10 和歌山県立医科大学 講堂
40. 神笠聖治：軟部腫瘍診療と転移性骨腫瘍マネジメント. 和歌山市医師会外科・整形外科部会, 2017.2, 和歌山

d) 全国学会

1. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 湯川泰紹 南出晃人 中川幸洋 岩崎 博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 籠谷良平：新しい成人脊柱変形の治療戦略は UIV の選択自由度を広げる. 第 7 回日本成人脊柱変形学会 2017 年 3 月 5 日 東京
2. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 湯川泰紹 南出晃人 中川幸洋 岩崎 博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 籠谷良平：成人脊柱変形の矯正手術において固定上位端を L1 もしくは L2 におくことは、治療選択肢としてあり得る. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会 2017 年 4 月 14 日 札幌市
3. 川上 守、佐藤栄修、川口善治、大鳥精司、宮本裕史、永島英樹、山崎良二、岩崎幹季、富士武史、小西宏昭、重松英樹、山田 宏、川原範夫：腰椎変性すべり症の術後腰痛改善に術式は影響する —AOSpine Asia Pacific 前向き多施設研究. 第 25 回日本腰痛学会 平成 29 年 11 月 3-4 日 品川、東京
4. 川上 守、石元優々、寺口真年、北川智子、谷川聖子、松岡淑子：頸椎症性脊髄症に対する後方除圧術の患者満足度に影響する因子—多次元評価の必要性—第 46 回日本脊椎脊髄病学会 平成 29 年 4 月 13-15 日、札幌市
5. 川上 守、石元優々、寺口真年、北川智子、谷川聖子、松岡淑子：頸部脊髄症に対する後方除圧術の患者満足度の多次元評価とその影響因子. 第 90 回日本整形外科学会 平成 29 年 5 月 18-21 日、仙台市
6. 川上 守、佐藤栄修、川口善治、大鳥精司、宮本裕史、永島英樹、山崎良二、岩崎幹季、富士武史、小西宏昭、重松英樹、山田 宏、川原範夫：神経性跛行を呈する腰椎変性すべり症の術式選択に影響する術前因子の検討 -AOSpine Asia Pacific 多施設研究. 第 26 回日本インストゥメンテーション学会 平成 29 年 10 月 13-14 日 金沢市
7. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、岩橋弘樹. 脊髄機能モニタリングにおける脊髄電気刺激・筋誘発電位の有用性—大脳電 気刺激・筋誘発電位との比較—. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会、2017、4、札幌市
8. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、岩橋弘樹. 胸椎手術における脊髄機能モニタリング—multimodal monitoring の有用性—. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会、2017、4、札幌市
9. 安藤宗治、玉置哲也. 脊髄電気刺激・筋誘発電位は皮質脊髄路を経由するか? 第 52 回日本脊髄障害医学会、2017 年、11、千葉市
10. 湯川泰紹、加藤文彦、橋爪洋、山田宏、吉田宗人. 脊椎骨盤矢状面パラメーターの Pelvic Incidence (PI) と Lumbar lordosis(LL)の性別・年代別標準値 —626 名健常者データから— 第 46 回日本脊椎脊髄病学会、2017.4.13-15、札幌
11. 湯川泰紹、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、高見正成、山田宏. 椎弓根軸射像下にラジオールセントガイドワイヤー挿入システムを用いた頸椎前方椎弓根スクリューの刺入精度 26 回日本インストゥルメンテーション学会、2017.10.13-14、金沢
12. 湯川泰紹、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、高見正成、山田宏. 胸髄症の定量的評価に対する 10 秒足踏みテストの有用性. 第 52 回日本脊髄障害医学会、2017.11.16-17、千葉

13. 松本卓二、木村友香子、西谷幸子：大腿骨近位部骨折におけるBCAAを用いたリハビリテーション栄養の栄養学的指標およびADLスコアの改善効果。第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会 平成29年2月23日-24日
14. 松本卓二、木村友香子：大腿骨近位部骨折患者の身体学的指標の経過-体重の変動とCONUTについて-。第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会 平成29年2月23日-24日
15. 松本卓二、木村友香子、西谷幸子：大腿骨近位部骨折におけるBCAAを用いたリハビリテーション栄養のADL評価スコアによる検討-Barthel IndexとFIMについて-。第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会 平成29年2月23日-24日
16. 松本卓二 安藤宗治 麻殖生和博：びまん性特発性骨増殖症に伴う胸腰椎骨折手術患者における肋椎関節の形態学的検討と拘束性肺機能障害の検討。第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2017年4月13日-15日
17. 松本卓二、木村友香子、西谷幸子：高齢者大腿骨近位部骨折と脊椎椎体骨折における栄養学的指標、身体学的指標による患者プロフィールの比較検討-疾患によりどのように栄養介入をすべきか?-。第90回日本整形外科学会学術総会 平成29年5月18日-21日
18. 松本卓二、木村友香子、西谷幸子：大腿骨近位部骨折患者の身体学的指標の経過-体重の変動とCONUTについて-。第90回日本整形外科学会学術総会 平成29年5月18日-21日
19. 松本卓二：大腿骨転子部骨折における外側壁骨折が術後患者ADLに及ぼす影響についての検討。第43回日本骨折治療学会 平成29年7月7日-8日
20. 松本卓二：外側壁骨折を伴う大腿骨転子部骨折における大腿骨近位部の骨形態についての検討。第43回日本骨折治療学会 平成29年7月7日-8日
21. 松本卓二：高齢者大腿骨近位部骨折と脊椎椎体骨折における栄養学的指標、身体学的指標による患者プロフィールの比較検討。第43回日本骨折治療学会 平成29年7月7日-8日
22. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、湯川泰紹、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、高見正成、中尾慎一、籠谷良平：頸椎性脊髄症に対する後からのpincer mechanismの解除の有用性 頸椎内視鏡下除圧術と頸椎椎弓形成術の比較による長期臨床成績からの検証第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会、札幌市、2017.4.13-15.
23. 南出晃人、吉田宗人、岩橋弘樹、山田宏、橋爪洋、湯川泰紹、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、高見正成、中尾慎一、籠谷良平：変性側彎を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する低侵襲除圧術の治療成績とその不良因子の検討。第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会、札幌市、2017.4.13-15.
24. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、湯川泰紹、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、高見正成、中尾慎一、籠谷良平：第90回日本整形外科学会学術集会、仙台市、2017.5.18-21.
25. 南出晃人、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、高見正成、山田宏：腰椎変性側彎症に対する側方経路腰椎椎体間固定術の進入側による優位性の検討。第129回中部日本整形外科災害外科学会、富山市、2017.10.6-7.
26. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、湯川泰紹、岩崎博、筒井俊二、高見正成、籠谷良平：脊椎内視鏡手術における神経根奇形への対処 -その診断とpitfall-。第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2017.4.13-15、札幌
27. Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Yukawa Y, Minamide A, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Nakao S : Clinical results of posterior cervical microendoscopic surgery for cervical spondylotic amyotrophy.. 第90回日本整形外科学会学術総会 2017.5.18-21、仙台
28. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、湯川泰紹、南出晃人、岩崎博、筒井俊二、高見正成、中尾慎一：スポーツ選手に対する頸椎内視鏡手術。第90回日本整形外科学会学術総会 2017.5.18-21、仙台
29. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 湯川泰紹 南出晃人 岩崎博 筒井俊二 高見正成 籠谷良平 西井佑介：BMI 40 kg/m²以上の4度肥満患者の腰椎疾患に対する後方内視鏡視下手術。第43回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会 2017.9.8-9、宮崎
30. 中川幸洋 山田宏 橋爪洋 湯川泰紹 南出晃人 岩崎博 筒井俊二 高見正成 籠谷良平：脊椎除圧単独手術後のfailed back surgery syndrome(FBSS)におけるLLIF(Lateral Lumbar Interbody Fusion)の有用性について。日本腰痛学会 2017.11.3-4、東京
31. 中川幸洋 山田宏 橋爪洋 湯川泰紹 南出晃人 岩崎博：腰椎除圧単独手術後のfailed back surgery syndrome に対する Lateral Lumbar Interbody Fusion の有用性。第52回日本脊髄障害医学会 2017.11.16-17、千葉
32. 中川幸洋 山田宏 西井佑介：BMI 40 kg/m²以上の4度肥満患者の腰椎疾患に対する後方内視鏡視下手術。第28回日本臨床スポーツ医学会学術集会 2017.11.18-19、国立オリンピック記念青少年総合センター、東京

33. Yukihiko Nakagawa, Munehito Yoshida, Hiroshi Yamada, Hiroshi Hashizume, Yasutsugu Yukawa, Akihito Minamide, Hiroshi Iwasaki, Shunji Tsutsui, Masanari Takami : LLIF for revision spine surgery after decompression surgery. Inaugural SOLAS Japan Regional Meeting, December 2, Tokyo, Japan, 2017
34. 南 晋司、木下裕文：大腿骨転子下骨折髓内釘固定後に発生した大腿骨頸部脆弱性骨折の1例。第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2017.4.20-22.福岡市
35. 麻殖生和博、安藤宗治、岩橋弘樹：骨粗鬆症性椎体骨折に対してHAブロックを併用した後方固定術の検討。第46回日本脊椎脊髄病学会, 2017.4. 札幌市
36. 麻殖生和博、安藤宗治、岩橋弘樹：80歳以上の腰部脊柱管狭窄症に対する除圧術の検討 -内視鏡下椎弓切除術と開窓術-, 第20回日本低侵襲脊椎外科学会,2017.7. 札幌市
37. 岩崎 博, 山田 宏, 橋爪 洋, 湯川 泰紹, 南出 晃人, 中川 幸洋, 筒井 俊二, 高見 正成, 中尾 慎一, 吉田 宗人：側臥位MRIを用いた腸管・腎臓位置の検討。低侵襲側方進入椎体間固定術における合併症を防ぐために。第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 札幌, 2017.4.13-15
38. 岩崎 博, 山田 宏, 橋爪 洋, 湯川 泰紹, 南出 晃人, 中川 幸洋, 筒井 俊二, 高見 正成, 中尾 慎一, 吉田 宗人：低侵襲側方進入椎体間固定術を安全に行うために 側臥位MRIを用いた腸管・腎臓位置の検討。第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台市, 2017.5.18-21
39. 野村和教、吉田宗人、中村陽介、山屋誠司。腰部脊柱管狭窄症に対する脊椎内視鏡下手術の学習曲線に関する検討。第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会。2017年4月。札幌市
40. 筒井俊二、山田 宏、橋爪 洋、湯川泰紹、南出晃人、中川幸洋、岩崎 博、高見正成、中尾慎一、籠谷良平、吉田宗人：思春期特発性側彎症の胸椎頂椎部椎弓根スクリュー刺入における椎体回旋度の影響とO-armナビゲーションの有用性。第46回日本脊椎脊髄病学会、2017.4. 札幌市
41. 筒井俊二、山田 宏、橋爪 洋、湯川泰紹、南出晃人、中川幸洋、岩崎 博、高見正成、中尾慎一、籠谷良平、吉田宗人：神経障害を伴った症例の術中経頭蓋電気刺激複合筋活動電位記録における多連発刺激の有用性。第46回日本脊椎脊髄病学会、2017.4. 札幌市
42. 筒井俊二、山田 宏、橋爪 洋、湯川泰紹、南出晃人、中川幸洋、岩崎 博、高見正成、中尾慎一、籠谷良平、吉田宗人：特発性側彎症の胸椎椎弓根スクリュー刺入における椎体回旋度の影響とO-armナビゲーションの有用性。第90回日本整形外科学会学術集会、2017.5. 仙台市
43. 高見正成、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、湯川泰紹、南出晃人、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、中尾慎一。腰椎変性後側弯症に対する低侵襲側方進入椎体間固定術における椎体回旋矯正効果。第7回日本成人脊柱変形学会学術集会（2017.03）東京
44. M Takami, M Okada, Y Enyo, H Iwasaki, H Yamada, M Yoshida. Noncontiguous double-level unstable spinal injuries. 第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会（2017.04） 札幌市
45. 高見正成、長田圭司、吉田宗人：Slot-scan digital radiographyによる正常日本人における脊椎矢状面アライメントの測定。第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会（2017.04） 札幌市
46. 高見正成、長田圭司、吉田宗人：Slot-scan digital radiographyによる正常日本人における脊椎矢状面アライメントの測定。第91回日本整形外科学会・学術集会（2017.05） 仙台市
47. 高見正成、吉田宗人、橋本忠晃、前田孝浩、工藤理史。軸椎椎体shear fractureの3例。日本骨折治療学会・学術集会（2017.07）郡山市（福島）
48. 高見正成、山田宏、湯川泰紹、南出晃人、岩崎博、筒井俊二、籠谷良平：XLIFの骨癒合率。第26回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（2017.10）金沢市
49. 谷口 隆哉 宮本選 谷口亘 佐々木貴英 曾根勝真弓 神藤一紀 吉田宗人：OCMによるmodern-cement-techniqueを用いたcement-stemの使用経験。第47回日本人工関節学会 2017.2.24-2.25 沖縄
50. 岩田勝栄、北野陽二、中村正亨、山川量平：Dupuytren拘縮に対するコラゲナーゼ注射療法による治療経験。第60回日本手外科学会学術集会, 2017.4.愛知
51. 谷口亘、谷口隆哉、福井大輔、佐々木貴英、曾根勝真弓、宮崎展行、山田宏：プレカット法によるPS型TKAにおけるギャップ補正とローサイズの選択率, 第9回JOSKAS 2017.6.23, 沖縄

52. 谷口亘, 谷口隆哉, 福井大輔, 佐々木貴英, 曾根勝真弓, 宮崎展行, 山田宏: THA 術後満足度に与える疼痛及び破局的思考の影響, 第 44 回日本股関節学会 2017.10.20, 東京
53. 谷口亘, 近藤誠, 谷口隆哉, 福井大輔, 山田宏: ステム付き tibia plate を用いた TKA と脛骨皮質との干渉に関する解析, 第 45 回日本関節病学会 2017.11.16, 東京
54. 峰 巨, 林未統, 西岡修平, 神藤一紀, 木岡雅彦, 井口智揮: 大腿骨人工骨頭置換術の術前に金属アレルギーの既往に対し金属パッチテストを施行した関節リウマチ患者の 1 例. 日本股関節学会 2017.10
55. 北野岳史, 山田宏, 木田真紀, 岡田由香, 雑賀司珠也, 吉田宗人: Impaired healing of a cutaneous wound in an inducible nitric oxide synthase-knockout mouse. 第 26 回日本形成外科学会基礎学術集会. 2017.10.大阪
56. 西山大介, 松崎作, 山崎悟, 岡田紗枝, 中村憲太, 太地良: 人工股関節全置換術後における深部静脈血栓症新規発生予測式の検討. 第 47 回日本人工関節学会, 2017.2. 沖縄
57. 福井大輔 宮本 選 谷口隆哉 谷口 亘 下江隆司 藤木貴頭 吉田宗人: 脛骨近位端粉碎骨折後偽関節症例に対し, megaprosthesis を使用し人工膝関節置換術を施行した 1 例. 第 47 回日本人工関節学会 2017.2.24-2.25 沖縄
58. 福井大輔 川上 守 山田 宏: 反復寒冷ストレス下の腰椎椎間板変性ラットモデルの疼痛行動に影響する薬物の検討. 第 32 回日本整形外科学会基礎学術集会 2016.10.26-10.27 沖縄
59. 南貴雄, 古賀英之, 関矢一郎, 渡邊敏文, 堀江雅史, 小田邊浩二, 大原敏之, 中村香織, 片倉麻衣, 大川淳宗田大: 半月板後角損傷と膝安定性の関連. 第 90 回日本整形外科学術集会, 2017.5.仙台
60. 下江隆司, 谷口泰徳, 辻本修平: 高齢者の舟状骨偽関節に対する救済手術—遠位骨片摘出および舟状骨切除術—. 第 60 回日本手外科学会, 2017.4.27. 名古屋
61. 下江隆司, 神埜聖治, 北山啓太, 山田 宏. 超高齢者の足背部外傷性皮膚軟部組織欠損に対し逆行性短趾伸筋弁による治療を行った 1 例. 第 42 回日本足の外科学会, 2017.11.10. 名古屋
62. 下江隆司, 土井一輝, 服部泰典, 坂本相哲, 油形公則: 腕神経叢損傷の肩機能再建における肩甲上神経修復術後の動的肩 X 線撮影における評価—第 2 報: パラメータ間の比較—. 第 44 回日本マイクロサージャリー学会, 2017.12.8. 宮崎
63. 籠谷良平, 湯川 泰紹, 橋爪洋, 中尾慎一, 前田孝弘, 高見正成, 山田宏 後彎を合併した頸椎感染性脊椎炎に前後合併手術を行った 2 例 第 85 回和歌山医学会総会, 2017.7.23, 和歌山
64. 籠谷良平, 湯川泰紹 後頭骨—第 3 頸椎間後方固定後の呼吸障害 第 50 回脊椎同好会, 2017.8.26, 倉敷
65. 寺口 真年, 吉村 典子, 橋爪 洋, 山田 宏, 村木 重之, 岡 敬之, 籠谷 良平, 田中 栄, 吉田 宗人 4 年間の腰椎椎間板変性の進行率と危険因子について—The Wakayama Spine Study—, 第 46 回 日本脊椎脊髄病学会学術総会 2017.4 札幌
66. 寺口 真年, Dino Samartzis, 橋爪 洋, Jason Cheung, Kenneth Cheung, 吉村 典子, 吉田 宗人: 腰椎 MRI における High Intensity Zone の新たな形態的分類と画像変化について—The Wakayama Spine Study—, 第 46 回 日本脊椎脊髄病学会学術総会 2017.4 札幌
67. 寺口 真年, 吉村 典子, 橋爪 洋, 山田 宏, 村木 重之, 岡 敬之, 籠谷 良平, 田中 栄, 吉田 宗人 腰椎椎間板変性発症の危険因子について—The Wakayama Spine Study—, 第 91 回 日本整形外科学会学術総会 2017.5 神戸
68. 山中学, 松浦孝紀, 谷口亘, 曾根勝真弓, 西尾尚子, 中塚映政, Zhuo Min: カルシウム活性化アデニルシクラーゼ 1 はマウス島皮質における LTP に寄与する. 第 39 回日本疼痛学会, 2017.6. 神戸
69. 前田 孝浩, 吉村 典子, 橋爪 洋, 山田 宏, 岡敬之, 石元 優々, 長田 圭司, 村木 重之, 南出 晃人, 中川幸洋, 湯川 泰嗣, 吉田 宗人 大規模住民コホートにおける腰部脊柱管狭窄症の発症関連因子—The Wakayama Spine Study— 第 90 回 日本整形外科学会学術総会 宮城県仙台市 2017 年 5 月
70. 佐々木貴英, 橋爪洋, 西村行秀, 岡敬之, 箕島佑介, 田島文博, 山田宏: 体幹筋トレーニングによる腰痛および身体能力への効果—MRI と電気生理学的指標による検討—, 第 90 回日本整形外科学会学術集会, 2017.5, 仙台市
71. 佐々木貴英, 下江隆司, 神埜聖治, 山田宏: 前足根管症候群を呈した神経鞘腫の 1 例, 第 129 回日本中部整形外科学会災害外科学会学術集会, 2017.10, 富山市
72. 佐々木貴英, 下江隆司, 神埜聖治, 山田宏: 前足根管症候群を呈した神経鞘腫の 1 例, 第 42 回日本足の外科学会学術集会, 2017.11, 名古屋市

73. 西井佑介：スポーツ競技者に発症した腰椎椎間関節嚢腫に対して内視鏡下腰椎後方除圧術を行った2症例。第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会、2017.9
74. 出口剛士、橋爪洋、中島正宏、寺口真年、野島正寛、吉村典子、吉田宗人、池川志郎、山田宏：一般住民コホートにおけるTHBS2と椎間板変性との相関解析。第91回日本整形外科学会学術総会 2017.5 神戸
75. 藤木貴頭 中川幸洋 山田宏：長期透析患者に合併した多椎間の黄色靭帯石灰化症による頸髄症に対して内視鏡下除圧術が有効であった1例。第52回日本脊髄障害医学会総会 2017.11. 千葉
76. 村田鎮優 中川幸洋 橋爪洋 湯川泰紹 南出晃人 岩崎博 筒井俊二 高見正成 籠谷良平 山田宏：腰椎固定術後の隣接椎間障害に対する内視鏡下除圧手術の有用性。日本腰痛学会 2017.11.3-4, 東京
77. 北川智子、川上 守、石元優々、寺口真年、森下詔子、松岡淑子：腰部脊柱管狭窄症術前患者の患者立脚型評価と心理因子の関連性について。第46回日本脊椎脊髄病学会 平成29年4月13-15日、札幌市
78. 北川智子、川上 守、石元優々、寺口真年、谷川聖子、森下詔子、松岡淑子：腰部脊柱管狭窄症の患者立脚型評価には心理的因子が関与する。第90回日本整形外科学会 平成29年5月18-215日、仙台市
79. 北川智子、川上 守、石元優々、寺口真年、森下詔子、松岡淑子：腰部脊柱管狭窄症の患者立脚型評価と心理的因子の関連性について。第39回日本疼痛学会 平成29年6月16-17日 神戸市
80. 松山幸弘、海渡貴司、川上 守、井上 玄、今釜史郎、西田憲太郎、波呂浩孝、宮腰尚久、村上英樹、山崎正志、山田 宏、田口敏彦、持田讓治、新谷 歩、田倉智之、山下敏彦：日本脊椎脊髄病学会 学会プロジェクト—慢性腰痛症に対する薬物治療の臨床経済性に関わる評価—第46回日本脊椎脊髄病学会 平成29年4月13-15日、札幌市
81. 海渡貴司、松山幸弘、川上 守、井上 玄、今釜史郎、西田憲太郎、波呂浩孝、宮腰尚久、村上英樹、山崎正志、山田 宏、田口敏彦、持田讓治、新谷 歩、田倉智之、山下敏彦：慢性腰痛症に対する薬物治療の臨床評価。第46回日本脊椎脊髄病学会 平成29年4月13-15日、札幌市
82. 新谷 歩、松山幸弘、海渡貴司、川上 守、井上 玄、今釜史郎、西田憲太郎、波呂浩孝、宮腰尚久、村上英樹、山崎正志、山田 宏、田口敏彦、持田讓治、田倉智之、山下敏彦：大規模臨床観察データの統計学的解析のポイントとピットフォール。第46回日本脊椎脊髄病学会 平成29年4月13-15日、札幌市
83. 中川雅文、川上 守、長田圭司、石元優々、寺口真年、峯玉賢和、北川智子：頸部愁訴の矢状面全脊椎骨盤アライメントとQOLの関係。第46回日本脊椎脊髄病学会 平成29年4月13-15日、札幌市
84. 中川雅文、川上 守、石元優々、寺口真年、森下詔子、北川智子、峯玉賢和、山本義男、左近奈菜、隅谷 政：急性期有痛性骨粗鬆症性地帯骨折に対する活動性維持療法の有用性。第90回日本整形外科学会 平成29年5月18-215日、仙台市
85. 中川雅文、長田圭司、峯玉賢和、山本義男、藤原詔子、北川智子、石元優々、隅谷 政、川上 守：急性期有痛性骨粗鬆症性椎体骨折に対する活動性維持療法による椎体高と腰部痛との関係。第39回日本疼痛学会 平成29年6月16-17日 神戸市
86. 中川雅文、川上 守、寺口真年、籠谷良平、峯玉賢和、北川智子、山本義男、左近奈菜、森 信彦、隅谷 政 1780 演題名：急性期骨粗鬆症性椎体骨折に対する活動性維持療法の腰部痛と椎体変化の関係。第25回日本腰痛学会 平成29年11月3-4日 品川、東京
87. 峯玉賢和、川上 守、石元優々、寺口真年、隅谷 政、北川智子、三宅隆広、山本義男、中川雅文、左近奈菜、森下詔子：腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法と手術療法の比較—2年間の過去起点前向き研究。第90回日本整形外科学会 平成29年5月18-215日、仙台市
88. 峯玉賢和、川上 守、石元優々、寺口真年、隅谷 政、北川智子、三宅隆広、山本義男、中川雅文、左近奈菜、松岡淑子：腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法と手術療法の2年間の比較—傾向スコアマッチング法による解析。第25回日本腰痛学会 平成29年11月3-4日 品川、東京
89. 竹内大作、種市 洋、橋爪 洋、金森昌彦、寒竹 司、金山雅弘、松本守雄、松山幸弘、笠井裕一、竹下克志、山崎 建、田中信弘、松永俊二、宮本雅史、田中雅人、紺野慎一、川上 守：腰椎変性側弯症の健康関連QOL低下に及ぼすエックス線学的パラメータを検討する多施設横断的研究。第90回日本整形外科学会 平成29年5月18-215日、仙台市
90. 川口義治、川上 守、佐藤栄修、永島英樹、伊東 学、岩崎幹季、Samartzis Dino：腰椎変性すべりの危険因子—椎間関節角度の解析—AOSpine 国際施設共同研究。第90回日本整形外科学会 平成29年5月18-215日、仙台市
91. 吉田隆紀、川上 守、寺口真年、峯玉賢和、北川智子、中川雅文、石元優々：間欠跛行を伴う腰部脊柱管狭窄症患者の脳由来神経栄養因子

は腰痛に関連する。第25回日本腰痛学会 平成29年11月3-4日 品川、東京

92. 藤原靖、松山幸弘、小林祥、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、今釜史郎、伊藤全哉、山田圭、和田簡一郎、田所伸郎、高橋雅人、山本直也、谷俊一。脊髄腫瘍の術中脊髄モニタリング。髄内腫瘍との違いを含めて（日本脊 椎脊髄病学会多施設研究）。第46回日本脊椎脊髄病学会、2017、4、札幌市
93. 山田圭、松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、山本直也、小林祥、今釜史郎、寒竹司、和田簡一郎、田所伸郎、高橋雅人、藤原靖、谷俊一。脊柱変形手術の手術操作による神経障害と術中対応策の検討～JSSR 脊髄モ ニタリングワーキンググループ多施設前向き研究～。第46回日本脊椎脊髄病学会、2017、4、札幌市
94. 松山幸弘、小林祥、安藤宗治、川端茂徳、寒竹司、今釜史郎、山田圭、藤原靖、高橋雅人、和田簡一郎、田所伸郎、山本直也、谷俊一。脊髄腫瘍の術中脊髄モニタリング高リスク脊椎手術における Br(E)-MsEP を用いた術中脊髄モニタリング。第46回日本脊椎脊髄病学会、2017、4、札幌市
95. 松山幸弘、安藤宗治、川端茂徳、寒竹司、高橋雅人、今釜史郎、藤原靖、山田圭、山本直也、田所伸郎、谷俊一。高リスク脊椎手術における Br(E)-MsEP—日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループ多施設研究—。第90回日本整形外科学会、2017、5、仙台市
96. 山田圭、松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、山本直也、小林祥、寒竹司、今釜史郎、和田簡一郎、田所伸郎、谷俊一。脊柱変形手術で発生した神経障害と術中対応策の有用性の検討—日本脊椎脊髄病学会多施設前向き研究—。第90回日本整形外科学会、2017、5、仙台市
97. 木村友香子、松本卓二、西谷幸子：高齢者大腿骨近位部骨折と脊椎椎体骨折における栄養学的指標、身体学的指標による患者プロフィールの比較検討疾患によりどのように栄養介入をすべきか？。第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2017年2月23日—24日

e) 地方学会

1. 山田 宏：成人脊柱変形手術における PJK 発生リスクと UIV についての再考 第47回脊椎外科を学ぶ会 2017年2月25日 大阪市
2. 川上 守、川口善治、宮本裕史、永島英樹、岩崎幹季、川原範夫：腰椎変性すべり症患者の術前 QOL に影響する因子の検討 AOSpine Asia Pacific 多施設研究 第129回中部日本整形外科災害外科学会 2017年10月6-7日、富山市
3. 松本卓二 安藤宗治 佐々木俊二：下肢整形外科手術施行患者における抗凝固剤であるエドキサバンとエノキサパリンの肝機能障害についての検討。第128回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 2017年4月7-8日
4. 松本卓二、木村友香子：大腿骨近位部骨折における BCAA を用いたリハビリテーション栄養の栄養学的指標および ADL スコアの改善効果。大腿骨転子部セミナー in 京都 2017年9月30日
5. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 岩崎博：脊椎内視鏡手術における神経根奇形とその対処。第128回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2017.4.7-8.神戸市
6. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、湯川 泰紹、南出 晃人、中川 幸洋：低侵襲側方進入椎体間固定術アプローチにおける腸管存在頻度とその危険因子 側臥位 MRI を用いた検討。第129回中部日本整形外科・災害外科学会・学術集会、富山市、2017.10.6-7
7. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、湯川 泰紹、南出 晃人、中川 幸洋、筒井 俊二、高見 正成、中尾 慎一、吉田 宗人：低侵襲側方進入椎体間固定術を安全に行うための体位別腸管・腎臓位置の検討。第3回 JALAS 日本脊椎前方側方進入手術研究会、名古屋市、2017.1.28（最優秀演題）
8. 筒井俊二、山田 宏、橋爪 洋、湯川泰紹、南出晃人、中川幸洋：腰椎側方進入椎体間固定術におけるスペーサーの沈み込みに関する X 線学的検討。第129回中部日本整形外科災害外科学会、2017.9. 富山市
9. 高見正成、山田宏、橋爪洋、湯川泰紹、南出晃人、中川幸洋：高齢者成人脊柱変形に対する UIV 選択自由度を広げた当科治療戦略の術後2年成績。第129回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会（2017.10）富山市
10. 岩田勝栄、北野陽二、中村正亨、山川量平：足背遠位外側部の外傷性皮膚欠損に対する遊離前外側大腿皮弁の1例。第117回関西形成外科学会学術集会、2017.11.和歌山
11. 石元優々、川上 守、長田圭司、寺口真年、堀江佳代子、大浦 誠：一般住民コホートにおける腰痛と膝痛・腰部脊柱管狭窄症の有病率とその関係について - かつらぎ study - 第128回中部日本整形外科災害外科学会 平成29年4月7-8日 神戸市

12. 石元優々、川上 守、寺口真年、森口奈美腰椎黄色靱帯血腫の1症例. 和歌山県整形外科医会第27回学術集会 平成29年3月4日 和歌山市
13. 石元優々、川上 守、寺口真年、森口奈美: 腰椎手術後の髄液嚢に対する静脈血注入療法. 第14回和歌山MIOSフォーラム 平成29年1月21日 和歌山市
14. 北野岳史, 下江隆司, 橋本忠晃, 瀧口登, 藤木貴顕, 加藤正哉, 吉田宗人: 陰圧閉鎖療法と上外側膝動脈皮弁を適応し、救肢し得た下肢ガス壊疽の1例. 第14回和歌山最小侵襲整形外科(MIOS)フォーラム, 2017.1. 和歌山
15. 北野岳史, 下江隆司, 辻本修平, 朝村真一, 谷口泰徳: 米粒体を伴った屈指腱鞘滑膜炎の治療経験. 第116回関西形成外科学会, 2017.7.大阪
16. 北野岳史, 下江隆司, 橋本忠晃, 瀧口登, 山田宏: 陰圧閉鎖療法と上外側膝動脈皮弁を適応し、救肢し得た下肢ガス壊疽の1例. 第129回中部日本整形外科災害外科学会, 2017.10.富山
17. 西山大介, 松崎作, 山崎悟, 岡田紗枝, 中村憲太, 太地良: Two-incision 人工股関節全置換術後における深部静脈血栓症の発生率と危険因子. 第14回和歌山最小侵襲整形外科(MIOS)フォーラム, 2017.1. 和歌山
18. 福井 大輔: 関節疾患に対する疼痛とその治療. 和歌山MIOS講演
19. 下江隆司, 神埜聖治, 友松晃一, 増田圭哉, 山田 宏: 橈骨遠位端骨巨細胞腫術後に発生した長母指伸筋腱皮下断裂の1例. 第129回中部日本整形外科災害外科学会, 2017.10.6. 富山
20. 下江隆司, 神埜聖治, 山田 宏: 超高齢者の足背部外傷に対して逆行性短趾伸筋弁による治療を行った1例. 第117回関西形成外科学会, 2017.11.26. 和歌山
21. 神埜聖治, 下江隆司, 割栢健史, 山田宏: 高齢者肋骨原発骨肉腫の1例. 第129回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2017.10, 富山
22. 寺口真年、川上 守、石元優々: 馬尾に発生した多発性神経鞘腫の1例. 第128回中部日本整形外科災害外科学会 平成29年4月7-8日 神戸市
23. 寺口 真年, 川上 守, 石元 優々: 馬尾に発生した多発性神経鞘腫の1例. 第448回 整形外科集談会 京阪神地方会 2017.2 大阪
24. 寺口 真年, 川上 守, 石元 優々: 馬尾に発生した多発性神経鞘腫の1例. 第448回 整形外科集談会 京阪神地方会 2017.4 神戸
25. 寺口 真年 川上 守 石元 優々 長田 圭司: 化膿性脊椎炎後の不安定腰椎に対して後方椎体形成および後方除圧固定術のみで治療し得た1症例, 和歌山医学 2017.7 和歌山
26. 寺口 真年, 川上 守, 石元 優々, 北川 智子, 大高 明夫, 隅谷 政: 頸椎前縦靱帯骨化切除が無効であった嚥下障害の2例, 第52回 日本脊髄障害医学会 2017.11 千葉
27. 寺口 真年 川上 守 石元 優々 長田 圭司: 骨粗鬆症性椎体骨折偽関節に対する椎体形成術および経皮的椎弓根スクリュー固定術後に早期にスクリューが後方逸脱した3症例の検討. 第129回 中部整形外科災害外科学会 学術集会 2017.10 富山
28. 寺口 真年 川上 守 石元 優々 長田 圭司: 骨粗鬆症性椎体骨折偽関節に対する椎体形成術および経皮的椎弓根スクリュー固定術後に早期にスクリューが後方逸脱した3症例の検討. 第26回 日本脊椎インストルメンテーション学会 2017.10 金沢
29. 籠谷良平、川上 守、寺口真年、石元優々、長田圭司: 化膿性脊椎炎後の不安定性腰椎に対して後方椎体形成および後方除圧固定術のみで治療し得た1症例. 第450回整形外科集談会京阪神地方会 平成29年7月29日 大阪市
30. 前田 孝浩, 橋爪 洋, 石元 優々, 湯川 泰紹, 山田 宏, 吉田 宗人: 腰部脊柱管狭窄症の発症関連因子の検討-The Wakayama Spine Study 第129回 中部日本整形外科災害外科学会学術集会 富山県富山市 2017年10月
31. 曾根勝真弓, 寺下浩平, 寺下浩彰: 最適な膝関節穿刺ルート探索. 第27回和歌山県整形外科医会, 2017.3. 和歌山
32. 山東茂樹、南 晋司、窪田誠治、木下裕文: レボフロキサシン内服後に両側アキレス腱断裂を発症した透析患者の1例. 第14回和歌山最小侵襲整形外科(MIOS)フォーラム, 2017.1.21.和歌山市
33. 山東茂樹、南 晋司、窪田誠治、木下裕文: 小児骨髄炎4例の治療経験. 和歌山県整形外科医会 第27回学術集会. 2017.3.14 和歌山市
34. 西井佑介: 高度肥満に対するLIF+PPSによるMIStの有用性. 第14回和歌山MIOSフォーラム 2017.1
35. 西井佑介: 当科におけるプレカット法のPitfall. 和歌山整形外科医会 2017.3

36. 北山啓太: poor risk の化膿性脊椎炎に対して低侵襲病巣揺擺固定術が有効であった 1 例. 第 14 回和歌山最小侵襲整形外科(MIOS)フォーラム, 2017.1. 和歌山
37. 北山啓太: 低侵襲病巣揺擺固定術で治癒せしめた poor risk の化膿性脊椎炎の 1 例. 第 128 回中部日本整形外科災害外科学会, 2017.4. 神戸
38. 北山啓太: 内転筋群に膿瘍形成を合併した恥骨骨髓炎の 1 例. 第 85 回和歌山医学会総会, 2017.7. 和歌山
39. 村上公英, 石口明, 岡田基宏, 太田泰宏, 三宅悠介: 膝蓋腱皮下断裂に対し人工靭帯を用いて修復した一例. 第 27 回和歌山整形外科医会学術集会, 2017.2. 和歌山
40. 村上公英, 三宅悠介, 岡田基宏, 太田泰宏, 友松晃一, 石口明, 金川建彦: 肩鎖関節脱臼に対し、Weaver 変法と Dog Bone Button を併用した 2 例. 第 85 回和歌山医学会総会, 2017.7. 和歌山
41. 西岡修平 峰巨 神藤一紀 木岡雅彦 林末統:ゾレドロン酸点滴製剤の投与中に両側の非定型大腿骨骨幹部骨折をきたした 1 例. 中部整形外科災害外科 2017.10
42. 西岡修平 峰巨 神藤一紀 木岡雅彦 林末統 井口智揮:ゾレドロン酸点滴製剤の投与中に両側の非定型大腿骨骨幹部骨折をきたした 1 例. 和歌山医学 2017.7
43. 西岡修平 林末統 木岡雅彦 峰巨 井口智揮:陳旧性 Galeazzi 骨折に対して Darrach 法を行った一例. 和歌山 MIOS フォーラム 2017.1.
44. 太地良: 抗菌薬充填ハイドロキシアパタイトを用いた上腕骨近位端骨折術後 MRSA 感染の一例. 第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2017.6. 札幌
45. 太地良: 大腿骨転子部骨折術後に大腿内側部に仮性動脈瘤を発症した一例. 第 129 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2017.10. 富山
46. 藤木貴頭 福井大輔 宮本 選 谷口隆哉 谷口 亘 下江隆司 吉田宗人: 皮膚欠損を合併した高度脛骨近位端粉碎骨折後偽関節に腫瘍用人工関節と腓腹筋弁を併用し治療した 1 例. 第 449 回 整形外科集談会
47. 友松晃一 山田 宏 筒井俊二 中尾慎一 籠谷良平 吉田宗人: 腰椎後側方固定術後椎間孔狭窄に対してフルオロナビゲーションを用いた脊椎内視鏡手術が有用であった一例, 第 14 回和歌山最小侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム, 2017, 1, 21 和歌山
48. 友松晃一 山田 宏 筒井俊二 中尾慎一 籠谷良平 吉田宗人: 腰椎後側方固定椎間内に遺残した椎間孔狭窄に対してナビゲーションを用いた脊椎内視鏡手術が有用であった一例, 第 47 回脊椎外科を学ぶ会, 2017, 2, 25 大阪
49. 友松晃一 山田 宏 筒井俊二 中尾慎一 籠谷良平 吉田宗人: Postfusion stenosis による椎間孔狭窄発症後 40 年が経過した症例に対して脊椎内視鏡手術が有効であった一例, 第 128 回中部日本整形外科災害外科学会, 2017, 4, 7 兵庫
50. 友松晃一 三宅悠介 岡田基宏 太田泰宏 村上公英 石口明: 上腕骨小頭骨折の治療経験, 第 86 回和歌山医学総会, 2017, 7, 23 和歌山
51. 藤木貴頭 山田宏 湯川泰紹 中川幸洋 橋爪洋 南出晃人 岩崎博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 籠谷良平 吉田宗人: 超高齢者の骨粗鬆症性椎体骨折後偽関節に対して X-Core2 system を用いた前方後方同時固定術を施行した 1 例, 第 129 回中部整形外科災害外科学術集会, 2017.4. 兵庫
52. 藤木貴頭 中川幸洋 高見正成 北山啓太 山田宏: 長期透析患者に合併した多椎体の黄色靭帯石灰化症による頸椎症性脊髄症に対して内視鏡下除圧術が有効であった 1 例, 第 85 回和歌山医学会総会, 2017.7. 和歌山
53. 藤木貴頭 下江隆司 神藤一紀 橋本光司 山田宏: 藤木貴頭 下江隆司 神藤一紀 橋本光司 山田宏: 有鉤骨骨折を伴った第 4・5CM 関節脱臼骨折の 1 例, 第 85 回和歌山医学会総会, 2017.7. 和歌山
54. 木戸勇介, 福井大輔, 宮本選, 谷口隆哉, 谷口亘, 山田宏: ACL/PCL 再建術後に生じた横紋筋融解症による急性腎不全の一例. 第 85 回和歌山医学会, 2017.7. 和歌山
55. 木戸勇介, 神埜聖治, 下江隆司, 山田宏: In situ preparation (ISP) 法を適応し患肢温存し得た大腿軟部肉腫の一例. 第 451 回整形外科集談会京阪神地方会, 2017.7. 大阪
56. 木戸勇介, 福井大輔, 宮本選, 谷口隆哉, 谷口亘, 山田宏: ACL/PCL 再建術後に生じた横紋筋融解症による急性腎不全の一例. 第 129 回中部日本整形災害外科学会, 2017.10. 富山

57. 谷上正純、山田宏、北野岳史、瀧口登、加藤正哉、北野陽二：足舟状骨脱臼骨折に対してプレートを用いた内固定を行った1例。第85回和歌山医学会、2017.7 和歌山
58. 谷上正純、山田宏、北野岳史、瀧口登、加藤正哉、北野陽二：足舟状骨脱臼骨折に対して観血的治療を行った1例。第129回中部日本整形災害外科学会、2017.10 富山
59. 村田鎮優 山田宏 岩崎博 前田孝浩：腰部脊柱管狭窄症の診断法として電気生理学的機能診断法の重要性を再認識した一例。第85回和歌山医学会総会、2017.7. 和歌山
60. 村田鎮優 山田宏 岩崎博 前田孝浩：腰部脊柱管狭窄症の診断法として電気生理学的機能診断法の重要性を再認識した一例。第129回日本中部整形外科災害外科学会学術集会、2017.10、富山市
61. 井上慎吾、神埜聖治、前田孝浩、吉田宗人：下肢軟部腫瘍の切開生検により診断に至ったサルコイドーシスの一例。第128回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、2017.4、神戸
62. 井上慎吾、神埜聖治、前田孝浩、小島史好、山田宏：下肢軟部腫瘍の切開生検により診断に至ったサルコイドーシスの1例。第85回和歌山医学会総会、2017.7、和歌山
63. 中川雅文、川上 守、寺口真年、籠谷良平、峯玉賢和、奈良園子：急性期有痛性骨粗鬆定性椎体骨折に対する活動性維持療法の短期治療成績。第129回中部日本整形外科災害外科学会 平成29年10月6-7日、富山市

f) その他(研究会等)

1. Hiroshi Yamada : The XLIF approach, March 19, 2017, March 19, 2017 Singapore (カダバーセミナー)
2. Hiroshi Yamada : XLIF case review, March 19, 2017 Singapore (カダバーセミナー)
3. 山田 宏：腰部脊柱管狭窄症 わかやま医療ナビ 2017年11月5日 放送
4. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、岩橋弘樹、市川和昭、吉増千恵、三宅崇登、伊庭信幸、榎本菜那。脊髄機能モニタリングにおける脊髄電気刺激・筋誘発電位と大脳電気刺激・筋誘発電位の比較。第38回脊髄機能診断研究会 2017.2 東京
5. 安藤宗治。脊髄刺激脊髄記録誘発電位による術中脊髄モニタリング。第3回術中脳脊髄モニタリングセミナー 2017.8 守口市
6. 安藤宗治。脊椎脊髄疾患の画像診断と電気生理学的診断。第15回日本整形外科学会脊椎脊髄病医研修会 2017.8 東京
7. 安藤宗治。検査技師・MEの方々のためのレクチャー 脊椎脊髄手術の神経モニタリングの基礎。第4回日本脳脊髄術中モニタリング研究会 2017.9 東京
8. 南出晃人：骨粗鬆定性椎体骨折におけるBKPの至適治療タイミングと薬物治療-高齢者のADL回復を目指して。和歌山県脊椎セミナー、和歌山市、2017.4.22.
9. 南出晃人：腰痛疾患に応じた治療法の選択-私の考え、経験を踏まえて。腰痛診療セミナー、田辺市(和歌山)、2017.11.30.
10. 吉田宗人、南出晃人、山田 宏、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、中尾慎一、佐藤公治、吉兼浩一：腰椎模型を用いた脊椎後方内視鏡手術実習。第7回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー、和歌山市、2017.6.17.
11. 南出晃人：我々の脊椎低侵襲手術への取り組み。持田製薬社員研修会、和歌山市、2017.7.10.
12. 中川幸洋：第15回脊椎脊髄病研修コース 2017.4.15、札幌
13. 中川幸洋：第8回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2017.6.17 和歌山市
14. 中川幸洋：ハンズオンセミナー ボーンモデルによる実技。第19回関西MIS研究会 2017.4.1 TKP ガーデンシティ東梅田 梅田セントラルビル、大阪市
15. 西秀人：プライマリーケアにおいても注意を要する脊椎疾患 第131回和歌山臨床整形外科医会 2017年3月25日 和歌山市
16. 北野陽二：ALTに血栓 reoperation. 第12回南和歌山外傷整形外科 open conference, 2017.3.和歌山
17. 北野陽二：橈骨遠位端骨折の基本手技と pit fall. 第13回南和歌山外傷整形外科 open conference, 2017.7.和歌山
18. 麻殖生和博。運動器疾患における疼痛へのアプローチ、第1回疼痛クリニカルセミナー、2017.7. 和歌山市
19. 谷口 隆哉 宮本選 谷口亘 佐々木貴英 曾根勝真弓 神藤一紀 山田宏：OCMによるmodern cement techniqueを用いたcement-stemの使用経験。アプローチ研究会 2017.4

20. 谷口 隆哉 宮本選 谷口亘 佐々木貴英 曾根勝真弓 神藤一紀 山田宏: OCMによるmodern-cement-techniqueを用いた cement-stemの使用経験. ハイブリッド研究会 2017.4
21. 岩田勝栄: 症例検討. 第6回若手整形外科疼痛研究会, 2017.9.和歌山
22. 谷口亘, 宮本選, 谷口隆哉, 吉田宗人: カップ挿入時に臼蓋底の巨大欠損を生じ、救済し得た症例. 第6回和歌山関節外科の会 2017.1.28, 和歌山
23. 谷口亘: 痛みのメカニズムと下行性疼痛抑制系. 2017年伊都薬剤師会研修会 2017.3.16, 橋本
24. 中村正亨: 骨盤輪骨折の1例. 第12回南和歌山外傷整形外科open conference, 2017.3.和歌山
25. 中村正亨: mini lecture 骨盤骨折の基礎の基礎. 第13回南和歌山外傷整形外科open conference, 2017.7.和歌山
26. 石元優々: ロコモティブシンドロームと3大運動器疾患 -骨粗鬆症に目を向けよう- 1月11日 第一三共MR勉強会
27. 石元優々: ロコモティブシンドロームと3大運動器疾患 -骨粗鬆症に目を向けよう- 1月18日 田辺薬剤師会研修会 特別講演 (第一三共主催)
28. 石元優々: 3大運動器疾患とロコモティブシンドロームについて -ノルスバンテープの使用経験について- 2月1日 久光製薬MR勉強会
29. 石元優々: ロコモティブシンドローム 健康で長生き! 2月7日 紀北健康講座 中佐野集会所
30. 石元優々: 骨粗鬆症の現状-ロコモティブシンドロームの観点より- 3月15日 伊都医師会主催 第386回診療懇話会
31. 石元優々: ロコモの3大運動器疾患 -骨粗鬆症に目を向けよう- 4月19日 旭化成MR講演
32. 石元優々: いつまでも元気に歩くために 4月25日 紀北健康講座 紀北分院
33. 石元優々: 骨粗鬆症のup to date-ロコモティブシンドロームの観点より- 5月18日 伊都薬剤師会研修会
34. 石元優々: 5月28日 ラジオ健康講座収録
35. 石元優々: ロコモティブシンドロームとその原因となる3大運動器疾患について 6月24日 第4回奈良ロコモフロンティアセミナー (ヤンセンファーマ主催)
36. 石元優々: 6月28日 ラジオ健康講座収録
37. 福井大輔 谷口隆哉 宮本 選 谷口 亘: 当院における人工股関節置換術のインプラント選択とアプローチ. OHMU 50 2017.3.11
38. 下江隆司, 谷口泰徳, 辻本修平, 吉田宗人: 高齢者の舟状骨偽関節に対する低侵襲手術-遠位骨片切除術および舟状骨全摘出術の治療成績-. 第14回和歌山MIOSフォーラム, 2017.1.21. 和歌山市
39. 下江隆司, 浅井宣樹, 吉田宗人: 動脈内へ誤投与されたジアゼパムによる末梢壊死の1例. 第34回中部日本手外科研究会, 2017.1.28. 高知
40. 神埜聖治: 軟部悪性腫瘍診療. エーザイ社内研修, 2017.11, 和歌山
41. 寺口 真年: 医療安全の観点からの骨粗鬆症対策. 第25回医療安全管理に関する研修会 2017.7 和歌山
42. 寺口 真年: 世界に目を向けて-国際論文の重要性-. 若手整形外科疼痛研究会 2017.9 和歌山
43. 寺口 真年: 腰椎椎間板変性の新規発生の危険因子について -The Wakayama Spine Study-. 和歌山医学 青洲賞 記念講演 2017.7 和歌山
44. 山中学, 谷口亘, 曾根勝真弓, 西尾尚子, 中塚映政: 島皮質におけるLTPメカニズム. 第15回整形外科痛みを語る会, 2017.7. 尼崎
45. 山川量平: 非定型大腿骨骨幹部骨折. 第12回南和歌山外傷整形外科open conference, 2017.3.和歌山
46. 山川量平: 上腕骨頸部骨折に対するlocking plateに難渋. 第13回南和歌山外傷整形外科open conference, 2017.7.和歌山
47. 太地良: 抗生剤充填ハイドロキシアパタイトを使用した上腕骨近位端骨折術後MRSA骨髄炎の一例. 第27回和歌山県整形外科医会学術集会, 2017.3. 和歌山
48. 太地良: 大腿骨転子部骨折術後に大腿内側部に仮性動脈瘤を生じた一例. 第85回和歌山医学会総会, 2017.7. 和歌山
49. 藤木貴頭 山田宏 中川幸洋 橋爪洋 南出晃人 岩崎博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 吉田宗人: 超高齢者の骨粗鬆症性椎体骨折後の偽関節に対してX-Core®を用いた前方後方同時固定術を施行した1例. 和歌山MIOSフォーラム, 2017.1. 和歌山
50. 藤木貴頭 高見正成 山田宏 筒井俊二 籠谷良平 瀧口登 橋本忠晃 吉田宗人: 軸椎椎体 Shear Fracture に対し手術治療を行った1例. 第27回和歌山県整形外科医会学術集会, 2017.3. 和歌山

51. 木戸勇介、福井大輔、谷口隆哉、谷口亘、下江隆司、山田宏：治療に難渋した化膿性膝関節炎の一例。整形外科紀伊半島合同カンファレンス（第何回か不明） 2017.9. 三重
52. 谷上正純 下江隆司 福井大輔 山田 宏：急性骨髄性白血病患者に発生した医原性前腕コンパートメント症候群の1例。第14回和歌山MIOSフォーラム、2017.1. 21 和歌山市

研究費交付状況

1. 研究代表者 山田 宏：新しい疾患概念としての脊柱後弯症による筋疲労性軸性疼痛の解明。文部科学省科学研究補助金（基盤研究C）研究課題番号：16K10834
2. 研究代表者 川上 守：動物モデルを用いたストレスによる慢性腰痛発症機序の解明。文部科学省科学研究補助金（基盤研究C）課題番号17K10938 0005
3. 研究代表者 西秀人、研究分担者 橋爪洋：腰部脊柱管外病変に係る難治性疼痛メカニズムの解明と治療法（基盤研究C）課題番号15K10419
4. 研究代表者 岩崎 博：低侵襲脊椎手術表現のための新しい電極付硬膜外内視鏡の開発。文部科学省科学研究補助金（基盤研究C）
5. 研究代表者 谷口 亘：前帯状皮質活性化が脊髄後角に下行性疼痛賦活系を形成するメカニズムの解析。文部科学省科学研究補助金（基盤研究C）
6. 研究代表者 谷口 亘、研究分担者 西尾尚子：神経障害性疼痛における下行性ドーパミン作動神経系の変調。文部科学省科学研究補助金（基盤研究C）
7. 研究分担者 谷口亘：スモンに関する調査研究班 厚生労働科学研究費補助筋（難治性疾患政策研究補助金）
8. 研究分担者 谷口亘：TRP チャネルシグナルネットワークと生体反応。平成29年度和歌山県立医科大学特定領域研究助成金
9. 研究代表者 石元 優々：MRI画像上の腰部脊柱管狭窄有所見者の予後とその予測因子：住民コホートの追跡。文部科学省科学研究補助金（国際共同研究加速基金）課題番号15KK0316
10. 研究代表者 寺口 真年：脊椎変性疾患の危険因子および頸部痛・腰痛の原因の解明による健康寿命の増進（基盤研究C）
11. 寺口 真年：運動器リハビリテーションが骨粗鬆症だけでなく健康寿命の延伸に影響する。大規模住民検診におけるAGE(終末糖化産物)と骨粗鬆症、サルコペニアの関連の検討。骨粗鬆症財団 研究助成プログラム
12. 出口剛士：椎間板変性の遺伝子解析と疾患定義の再構築。整形災害外科学研究助成金